# 平成30年度

# 行政評価「施策評価表」

(平成29年度 主要な施策の成果に関する説明書)

長野県千曲市

# 目 次

重点	<b>施策</b> ★ 外部評価対象事業	
第一	第二次千曲市総合計画の推進	
1	第二次千曲市総合計画の推進【総合政策課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第二	北陸新幹線新駅誘致	
1	北陸新幹線新駅誘致【新幹線対策室】 •••••••	2
第三	産業の振興	
1	産業支援センター支援事業【産業支援センター】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ċ
2	中小企業金融対策事業【産業振興課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	商工業振興対策事業【産業振興課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4	企業立地推進事業【企業立地推進課】 ••••••	6
(5)	商工業振興対策事業【企業立地推進課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
6	新規就農者・担い手確保対策事業【農林課】	8
7	花卉振興事業【農林課】 ************************************	Ć
8	ワインぶどう栽培促進事業【農林課】	10
第四	新たな観光推進組織による取り組み	
1	新たな観光推進組織による取り組み【観光交流課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
第五	高齢者福祉施策の推進	
1	認知症総合支援事業【高齢福祉課】	12
2	介護予防・日常生活支援総合事業【高齢福祉課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3	計画推進委員会事業【高齢福祉課】 ••••••	14
第六	子育て支援施策の推進	
1	産前産後ヘルパー派遣事業【こども未来課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
2	子育て短期支援事業【こども未来課】	16
3	地域で支える"ひとり親家庭"サポート事業(協働事業)【こども未来課】★	17
4	千曲市三世代同居近居促進事業【建設課】 •••••	18
(5)	子育て応援アプリ運用保守委託事業【こども未来課】	19
6	市立保育園耐震改修事業【保育課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
7	幼稚園保育料(授業料)多子世帯特別補助事業【保育課】 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	21
		22
9	母子保健事業【健康推進課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
第七	文化財の活用と保護・継承	
1	松田家資料整備事業【歴史文化財センター】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
第八	新庁舎等の建設	
1	新庁舎等建設事業【新庁舎建設室】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
第九	公共施設の再編	
1	公共施設の再編【財政課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
第十	市民とともに歩む市政	
1	協働のまちづくりの推進事業 【総合政策課】 ······	27

主要	<mark>施策1</mark> ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫	
(1)	広域的な道路網の整備	
1	国道及び県道整備事業【建設課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
2	姨捨スマートIC整備事業【建設課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
3	市道鋳物師屋寂蒔線整備事業【建設課】 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	30
4	市道1-21号線整備事業【建設課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
(2)	駅のバリアフリー化	
1	しなの鉄道受託駅運営事業【生活安全課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
(3)	空き家対策の推進	
1	千曲市空家等対策計画策定事業【建設課】	33
(4)	観光交流の推進	
1	観光交流の振興【観光交流課】	34
(5)	雇用の推進	
1	雇用対策事業【産業振興課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
(6)	農林業の振興	
1	6 次産業化推進事業【農林課】 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	36
2	松くい虫防除対策事業【農林課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
主要	施策2 ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫	
(1)	学校教育	
1	キャリア教育推進事業 【教育総務課】	38
2	特別支援教育支援員配置事業【教育総務課】 ••••••	39
3	副学籍事業【教育総務課】 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	40
4	小学校屋內運動場大規模改造事業【教育総務課】 ************************************	41
(5)	小学校遊具更新事業【教育総務課】 ••••••	
6	戸倉上山田中学校改築事業【教育総務課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
(2)	生涯学習等の推進	
1	家庭教育支援事業【生涯学習課(屋代公民館)】 ************************************	44
2	家庭教育支援事業【生涯学習課(戸倉公民館)】	45
3	家庭教育支援事業【生涯学習課(上山田公民館)】 ••••••	46
4	生涯学習推進事業【生涯学習課】 ••••••	47
(5)	原体験の森各種事業【生涯学習課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
6	ブックスタート事業【生涯学習課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
7	セカンドブック事業 【生涯学習課】 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	50
(3)	スポーツの振興	
1	第3回千曲川ハーフマラソン事業【スポーツ振興課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
2	スポーツ振興事業【観光交流課】	52
(4)	男女共同参画	
1	男女共同参画事業 【人権・男女共同参画課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
(5)	人権・平和	
(1)	人権・平和事業【人権・男女共同参画課】 ••••••	54

主要	<mark>施策3</mark> ≪支え合い、だれもが健康で活躍するまち≫	
(1)	障がい者福祉	
1	地域生活支援事業(基幹相談支援センターの設置【福祉課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
2	障害者援護一般事業(障害者福祉計画・障害福祉計画等の策定)【福祉課】	56
(2)	生活支援	
1	住宅・生活支援対策事業【福祉課】	57
2	生活保護事業【福祉課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	58
(3)	健康づくり	
1	成人保健事業 (保健健康教育・各種検診事業) 【健康推進課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
2	成人保健事業(健康サポート連携事業)【健康推進課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	60
3	成人保健事業(生活習慣病対策)【健康推進課】	61
(4)	国民健康保険関係	
1	国民健康保険事業【健康推進課】 ************************************	62
主要	<mark>施策4 </mark> 《災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち》	
(1)	防災対策	
1	地域防災計画改訂事業【危機管理防災課】 •••••••	63
2	業務継続計画(BCP)策定事業【危機管理防災課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64
3		65
4	災害時避難行動要支援者名簿事業【危機管理防災課】 ************************************	66
5	消防団員の確保対策について【危機管理防災課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	67
6	デジタル防災行政無線実施設計事業【危機管理防災課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	68
7	東林坊川改修事業【建設課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	69
8	住宅・建築物耐震改修促進事業【建設課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70
(2)	上下水道の整備	
(1)	生活基盤施設耐震化等交付金事業八幡地区配水管布設替舗装復旧工事	
•	【上下水道課】 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	71
2	「安心の蛇口」整備事業【上下水道課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
3	公共下水道整備事業【上下水道課】 ************************************	73
4	下水道整備済地区の接続促進【上下水道課】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74
(5)	農業集落排水施設の公共下水道施設への接続準備【上下水道課】・・・・・・・・・	75
(3)	長野広域連合が計画しているごみ焼却施設	
1	広域焼却施設対策事業【廃棄物対策課】★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
(4)	消費者保護対策	
1	消費者保護対策事業【生活安全課】 •••••	77
<u> </u>		
	施策5 《輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち》	70
(1)	稲荷山重要伝統的建造物群保存地区保存事業【歴史文化財センター】・・・・・・	78
2	城山史跡公園管理事業【歴史文化財センター】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	79
3	重要文化財智識寺大御堂修理事業【歴史文化財センター】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	80

### 第一 《第二次千曲市総合計画の推進》

事業名

第二次千曲市総合計画の推進

担当課名

総合政策課

#### 事業費

### 決 算 額(円) 7, 647, 160 節別内訳(円) 報酬 25, 200 給料、 7, 123, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 498, 960 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	7, 647, 160

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○総合計画は、今後10年間のまちづくりの基本指針となる 基本構想と、これを具体的に推進していくための取組みを 示した基本計画で構成されており、この計画に基づく事業 を着実に実行していく。

#### 【実績】

○総合計画、総合戦略事業、各種計画における施策体系の整理と事務事業の位置づけ等を意識するよう実施計画の様式などを改め、PDCA サイクルが確立するよう進行管理を行った。

また、実施計画(変更)、部局横断的事業、市民協働の観点 や事務事業のマッチングなどの課題は随時各課ヒアリン グを行った。

- ・ 市報千曲4月号で総合計画策定を周知
- ・ H29 実施計画ヒアリング 4/21~5/31・随時
- · 市民満足度調査 5/17~6/30
- · 総合計画概要版 全戸配布 7/1
- ・ 行政評価内部評価の決定 8/10
- ・ 市報9月号で市民満足度調査結果を周知
- 行政評価外部評価委員会開催 9/20
- H30 実施計画説明会 10/2
- ・ H30 実施計画ヒアリング 10/23~11/1
- · H30 実施計画 部長査定 11/7~10
- 理事者查定 11/13~21
- ・ 財政係引継ぎ 12/4
- 予算査定結果 1/23
- ・ 市報千曲1月号で行政評価の外部評価結果を公表

#### 【成果等】

- ・ 総合計画などにおける事務事業の位置づけの確認
- 事務事業の現状把握
- 総合戦略事業の部局横断的な課題の把握と改善
- ・ 事務事業の縮小・拡大・統合・応用などの指摘
- ・ 事務事業の財源涵養の指摘

#### 【今後の方向性】

○実施計画や各課等ヒアリングを行うなかで、事務事業の進行管理手法である PDCA サイクルの確立が不十分であり一連のプロセスが乏しい。特にA(改善)の観点が弱く、この事務事業を「続けるか・止めるか・改善し実行するか」などを各課等で考える機会が少ないと感じている。現在、それらを踏まえ、行政評価制度の見直しを検討して

いる。

### 第二 ≪北陸新幹線新駅誘致≫

事業名

北陸新幹線新駅誘致

担当課名

新幹線対策室

#### 事業費

### 決 算 額(円) 7, 053, 134 節別内訳(円) 報酬 給料、 5, 479, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 67, 220 16,752 需用費 役務費 委託料 使用料及び 7,950 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1, 482, 212 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	7, 053, 134

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○市民サービスを安定的・持続的に提供できる財源を確保するための有効な政策手段の一つとして新駅を誘致し、観光振興・産業振興などを図り、千曲市の更なる発展につなげていく。

#### 【実績】

- ○市報4月号と一緒に「将来も安心して住める千曲市へ」 のパンフレット及び市報7月号と一緒に「同盟会ニュース」を全戸配布した。
- ○「新幹線新駅誘致実現のための賛同署名」活動を行ない、 新たに約15,000名の賛同者を目標として署名活動に取り 組み15,163名の賛同署名を得て目標を達成した。
- ○8/23 出前講座を実施。
- ○市報、ホームページ、フェイスブック等による積極的な情報発信をした。

#### 【成果等】

- ○5/22 期成同盟会総会後に開催された新幹線新駅誘致講演 会に約450名の会員や市民が出席、新駅実現に向けての理 解が一定程度深まった。
- ○様々な方法で積極的な情報発信を行なうことにより、概ね 市民の理解を深めることができた。
- ○3/14 期成同盟会が「北陸新幹線新駅設置要望書」を JR 東日本長野支社へ提出し、10/20 に要望書の回答を得ることができた。しかし、JR からの要望書に対する回答が大変厳しい内容であったため、鉄道運輸機構、鉄道に関する専門家など、識者に意見を聴いて、新たに JR から提供があった事業費についての資料も検討した結果、新幹線新駅誘致運動を続けていくことは困難であると判断し、一旦区切りをつけることを市長が議会 12 月定例会で「北陸新幹線新駅誘致に関する JR の回答と今後の在り方」として報告をした。
- ○市長の意向表明後、新幹線新駅誘致運動についての市民説明会を開催。(12/27屋代第5区区民館・1/24戸倉創造館・1/26 更埴文化会館)また、2/26に期成同盟会総会を開催し、期成同盟会は平成30年3月31日をもって解散することになった。

#### 【今後の方向性】

○新幹線新駅誘致運動を続けていくことは困難であると判断し、一旦区切りをつけることとした。

事業名

産業支援センター事業

担当課名

産業支援センター

### 事業費

決 算	額(円)
	19, 717, 774
節別	内 訳(円)
幸及酉州	8, 010, 000
給料、 職員手当等	1, 643, 700
賃金	1, 032, 360
報償費	100, 000
旅費	407, 720
需用費	718, 391
役務費	175, 944
委託料	800, 000
使用料及び 賃借料	290, 109
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	6, 539, 550
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	750, 000
一般財源	18, 967, 774

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○市内企業の販路拡大及び企業間連携を促進する。

#### 【実績】

○グループネット間取引状況 (市内3団体、会員数:129社) 「ものづくり千曲プラネット、食品ネット千曲、 金属加工ネット千曲」

グループネット間取引件数 1,041件 支援センター等の紹介による取引件数 4件 展示会引合件数 452件 展示会取引成約件数 163件 展示会取引成約金額 49,821千円

#### 【展示会出展状况】

開催日	展示会名	参加企業
H29.6.21(水)~23(金)	機械要素技術展(東京ビッグサイト)	6社
H29.10.19(木)~21(土)	諏訪圏工業メッセ(諏訪湖イベントホール)	8社
H29.10.20(金)~21(土)	産業フェアin信州(長野市ビッグハット)	5社
H29.11.8(水)~11(土)	メッセナゴヤ(ポートメッセなごや)	4社
H30.2.7(水)~9(金)	テクニカルショウヨコハマ(パシフィコ横浜)	4社
		27社

#### 【ものづくり講演会開催状況】

開催日	演題	参加人数
H29.5.29(月)	工学とものづくり	32名
H29.8.9(水)	ドローンで描く社会イノベーション	37名
H29.9.28(木)	地域公共交通の再構築とまちづくり	39名
H29.11.29(水)	健康で美味しい「ながのブランド」創出による地域貢献	47名
H30.2.21(水)	航空技術の動向と信州大学の航空技術研究	35名
		190名

#### 【成果等】

○展示会出展により新規取引先の開拓ができた。

#### 【今後の方向性】

○市内企業間の取引や連携を活発にするため、講演会や工場 見学会、展示会見学会など、産業支援センター事業の更な る充実に取組む。

### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

公有財産

負担金、補助

及び交付金

補償、補填 及び賠償金

購入費 備品購入費

扶助費

公課費

預託金

中小企業金融対策事業

担当課名

産業振興課

#### 事業費

### 決算額(円) 776, 917, 084 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,643,700 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費

### 財源内訳(円) 国庫支出金 県支出金 地方債 740,000,000 その他 36, 917, 084 一般財源

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○市内金融機関への預託により、中小企業の運転資金、設備 資金の資金繰りに対し融資あっせんを行う。県信用保証協 会への保証料補給を行い、企業の融資保証料の負担軽減を 図る。
- ○設備投資を促していくため「設備投資特別資金」を1年延 長し、企業の設備投資の意欲の向上を図る。 また「一般事業資金(運転資金)」、「創業支援資金」の金 利引き下げや借換要件を緩和し、セーフティネットを利用 できない中小企業の資金繰りの円滑化を図る。

#### 【実績】

○千曲市中小企業振興資金あっせん状況

件数:183件 金額: 910, 990 千円

保証料補給額: 30,421 千円

○長野県中小企業振興資金あっせん状況

件数:22件

金額: 173, 260 千円

保証料補給額: 4,826 千円

#### 【成果等】

35, 273, 384

740, 000, 000

○市内金融機関への預託により、中小企業の運転資金、設備 資金の資金繰りに対し円滑な融資斡旋を実施した。県信用 保証協会への保証料補給を行い、企業の融資保証料の負担 軽減を図った。

- ○中小企業の資金繰りに対し、適切なあっせんにより経営の 安定を図っていく
- ○市の政策に沿ったメニュー作りの推進

#### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

商工業振興対策事業

担当課名

産業振興課

#### 事業費

### 決算額(円) 7, 821, 107 節別内訳(円) 報酬 給料、 6,026,900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 1, 754, 207 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 40,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	7, 821, 107

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 事業目的

○中心市街地、特に商店街の衰退が深刻となっていることから千曲市中心市街地活性化基本計画を策定し民間、商店街、商工団体との連携をコーディネートし「たまり場、交流の場」の創出など活性化事業を展開するとともに、個性や魅力を活かすまちづくりを進め、ヒトやモノが回遊と滞在を生み出すネットワークを推進していく。

#### 【実績】

○中心市街地まちなか再生支援事業

委託先:千曲商工会議所

期間: 平成29年4月1日~平成30年3月31日

・専門人材活用によるまちづくり事業の推進

(戦略会議・推進協議会の運営など)

- ・ちくま未来カフェ(ワークショップ) 開催回数:2回(ブレイブウォリアーズ・タウンミーティング)
- ・ちくま未来カフェ通信(情報発信) 回覧文書発行回数:6回 SNS (facebook, twitter)
- 1. ちくま未来フェスタ開催(公共施設有効活用)
- 2. 和かふぇよろづや開店(空き店舗活用など)
- 3. BW バナー大作戦・ゴール無償貸与ほか (BW スポーツタウン) ※2・3 は元気づくり支援金活用
- ○千曲市中心市街地活性化推進協議会
- 1. 推進協議会の開催(2回)
- 2. 中心市街地活性化セミナー(まち歩き・レクチャー)
- 3. 先進地視察 (新潟県 沼垂テラス商店街ほか)

#### 【成果等】

- ・基本計画の幾つかのプロジェクトが民間主体で始動した。
- ・空き店舗を「活動拠点」とした各種まちづくり活動が行われた。
- ・市内外の学生との活動によりまちづくりの担い手の発掘・ 育成・支援及びネットワークが形成された。

- ○市内におけるまちづくりの一定の意識醸成は得られたものの、市民・各種団体・民間業者・行政が一丸となって取り組む実行体制の確立が必要とされる。
- ・事業推進に必要な人員と予算の確保。
- ・事業推進における関係各課との連携。
- ・市内外への情報発信及び情報収集。

### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

企業立地推進事業

担当課名

企業立地推進課

#### 事業費

### 決算額(円) 2, 144, 161 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 765,660 需用費 280, 501 役務費 委託料 使用料及び 2,200 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 144, 161

及び賠償金 公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○新規企業を誘致するとともに既存企業の立地を支援する ことにより、雇用の確保及び税収増を図る。

#### 【実績】

○企業立地相談(問合せ34件)の状況

≪所在地別≫

市内企業19件 県内企業9件 県外企業6件

≪業種別≫

製造業21件 運輸業5件 その他8件

≪相談内容別≫

物件探し23件 助成制度10件 その他1件

#### 【成果等】

○商工業振興条例に基づく助成金の交付

(工場等立地向け助成事業交付分)

工場等用地取得事業 15件

工場等設置事業 7件

空き建物活用事業 11件

工場等立地雇用支援事業 1件

#### 【今後の方向性】

○物件探しの問合せは多いが、条件に合う物件がなく、成約 に至らないケースが多い。

空き工場等、物件情報の収集方法を検討する。

### 第三 ≪産業の振興≫

99, 816, 500

2, 739, 500

97, 077, 000

事業名

報酬

給料、

賃金

旅費

報償費

需用費

役務費

委託料

賃借料

使用料及び

工事請負費

原材料費公有財産

購入費

扶助費

公課費

備品購入費

負担金、補助

及び交付金

補償、補填

及び賠償金

職員手当等

商工業振興対策事業

担当課名

企業立地推進課

#### 事業費

決算額(円)

節別内訳(円)

### 【事業目的】

○新規企業を誘致するとともに既存企業の立地を支援する ことにより、雇用の確保及び税収増を図る

主要な施策の成果等

#### 【実績】

○商工業振興条例に基づく助成金

認定:89件

共同施設整備事業:2件

商店街空き店舗等活用事業:6件

商業活動強化事業:5件

工場等用地取得(賃借)事業:5件

工場等設置事業:6件

工場等立地雇用支援事業:2件

空き建物活用事業:6件 販路開拓支援事業:20件

ホームページ作成支援事業:14件

人材育成事業:9件

ものづくり新技術等開発事業:3件

新産業創出支援事業:11件

#### 交付:98件

共同施設整備事業:3件

商店街空き店舗等活用事業:6件

商業活動強化事業:5件

工場等用地取得(賃借)事業:15件

工場等設置事業:7件

工場等立地雇用支援事業:1件

空き建物活用事業:11件 販路開拓支援事業:16件

ホームページ作成支援事業:12件

人材育成事業:9件 国際規格登録事業:1件

ものづくり新技術等開発事業:3件

新産業創出支援事業:9件

### 国庫支出金 県支出金 地方債 その他

財源内訳(円)

一般財源 99,816,500

#### 【成果等】

○商工業者に対し必要な助成措置を講じ、商工業者の育成、 企業誘致の促進を推進し、市内産業の振興を図った

#### 【今後の方向性】

○産業振興の促進を図るうえで、中小企業者の実態把握に努めるとともに、商工団体との情報交換などを行い、経済情勢、国・県の動向、利用者ニーズに応じた内容とするため、助成金見直し等の対応に取り組む。

### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

新規就農者・担い手確保対策事業

担当課名

農林課

#### 事業費

決 算	紅 額 (円)
	18, 698, 300
節 別	内 訳(円)
報酬	
給料、 職員手当等	1, 643, 700
賃金	
報償費	
旅費	65, 600
需用費	
役務費	
委託料	
使用料及び 賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金 #####	16, 989, 000
扶助費 	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	15, 750, 000
地方債	
その他	30, 000
一般財源	2, 918, 300

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足が進む地域農業を支える新たな担い手や定年帰農者を呼び込み、定住につながるよう相談体制や受け入れ体制などの環境整備を図る。

#### 【実績】

- (1) 就農相談会(長野県市町村 JA 合同就農相談会@新宿、 野菜花卉の就農相談会@新宿、UIJ ターン応援フォーラム@東京)参加。 相談者 5 名
- (2) 市内における就農相談対応(随時) 相談者5名
- (3) 農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金) 交付: 9名10組(15,750,000円)
- (4) 市単独補助事業による農業機械取得費助成:3件 (1,239,000円)

#### 【成果等】

- (1) 29 年度に新規就農した者:1名 (あんず)
- (2) 30年度から研修に入る者:1名 (トマト)
- (3) 30年度から親元就農する者:1名 (米)
- (4) 担い手組織の法人化:1件 (米穀)

- ○当市花卉(トルコギキョウ)生産を担う担い手の計画的確 保体制の確立
- ○果実を含めた、就農者数の底上げ

### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

花卉振興事業

担当課名

農林課

#### 事業費

	額(円)
	2, 526, 963
節 別	内 訳(円)
報酬	
給料、 職員手当等	1, 095, 800
賃金	
報償費	
旅費	78, 700
需用費	82, 463
役務費	
委託料	270, 000
使用料及び	
賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助	1 000 000
及び交付金	1, 000, 000
扶助費	
補償、補填	
及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 526, 963

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○千曲市における産地としての「トルコギキョウ」を更に活性化すると共に、2020年東京五輪での花卉採用を目指すため認知度向上を図る。

#### 【実績】

- 1. 10 月に IFEX (国際フラワー&プランツ EXPO) で千曲市 としてブースを出展
- 2. 生産者団体への支援として、1,000千円執行
- 3. トルコギキョウの東京五輪採用を狙い、平成30年度市 内スポーツイベントである、千曲川ハーフマラソンに て、表彰用ブーケ導入を採用決定

#### 【成果等】

○日本最大の花の展示会である IFEX に行政として出展することで、他出展社との差別化及びトルコギキョウ認知度の向上が図れた。また、千曲市の中曽根健氏が同展示会切り花部門にて3年連続グランプリを獲得した。

- 1. 平成30年度も継続してIFEXに出展予定。
- 2. 生産者団体への支援も継続して、1,000千円執行予定。
- 3. 2020 年東京五輪の花卉採用に向け、情報収集及びアプローチ方法の整理をする。

### 第三 ≪産業の振興≫

事業名

ワインぶどう栽培促進事業

担当課名

農林課

#### 事業費

### 決算額(円) 4,699,500 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 739, 500 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1,960,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 699, 500

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○ワイン用ぶどうの栽培振興を通じ、遊休荒廃農地の発生防止及び担い手の確保を図るため、苗木や支柱の導入助成や 千曲市ワインぶどう研究会と連携した技術講習会等を実施する。

#### 【実績】

- (1) 栽培講習会5回実施
- (2) 研究会試験圃場産ぶどう初収穫 (305kg)
- (3) 共同育苗施設、本格始動(2,124本育苗)
- (4) 支柱等に対する助成=3件1,360,000円

#### 【成果等】

- (1) 市内ワインぶどう栽培面積が 3.5ha に拡大した (参考: 前年 2.4ha)
- (2) 全国的に課題となっている「苗木不足問題」に対し、市内生産者が早急に苗木を確保できる体制が整備できた。
- (3) 30 年度は上記実績(2) で収穫したぶをうでつくった ワインのお披露目会開催予定であり、販路づくりの支援 体制ができ始めた。

- (1) 30 年 7 月 26 日のワインお披露目会で、市民やサービス業者にきちんと"千曲市産ワイン"の存在を PR することが必要。
- (2) 出口対策として、市内第一号となるワイナリーの誕生が望まれる。

### 第四 ≪新たな観光推進組織による取り組み≫

事業名

新たな観光推進組織による取り組み

担当課名

観光交流課

### 事業費 決算額(円) 30,000,000 節別内訳(円) 報酬 給料、 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 30,000,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	30, 000, 000

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○平成29年度に発足した「信州千曲観光局」は、観光に携わる団体は勿論のこと、地元商店、まちづくり団体をはじめとする多様な関係者や一般市民と協同しながら千曲市を盛り上げ、地域全体にお金を落としてもらうための観光地域づくりやマーケティングをおこなう組織である。

また、観光行政では対応できない分野に手を広げ地域の 活性化を目的とする組織であり、観光行政と両輪で観光 振興を推進するものである。

#### 【実績】

- ○観光局の活動
- 1. 観光情報の集約と一括発信
- 2. 来訪者満足度調査の実施
- 3. 着地型旅行商品の造成
- 4. プロモーション活動

#### 【成果等】

- ○千曲市観光協会が取り組んできた業務を継承するととも に新たな業務を実施
- 1. ホームページをリニューアルし、観光情報の積極的な発信を行った結果、観光協会時と比較し閲覧数が増加した。
- 2. 来訪者満足度調査を実施するとともに、調査結果を会員に提供
- 3. 観光資源の洗い出しと住民参加型のワークショップを開催し、これらを基に着地型体験商品を造成

#### 【今後の方向性】

○来訪者満足度調査を検証し、ニーズを的確に把握することでより効果的な情報発信を行う。

また、地域資源に磨きをかけて、ブランド価値を向上させ、 地域にお金を落ちる仕組みを構築する。

### 第五 ≪高齢者福祉施策の推進≫

事業名

認知症総合支援事業

担当課名

高齢福祉課

#### 事業費

—————————————————————————————————————	. 額 (円)
	7, 288, 355
節別	内 訳(円)
幸民酉州	25, 200
給料、 職員手当等	6, 729, 300
賃金	
報償費	
旅費	159, 160
需用費	49, 759
役務費	
委託料	
使用料及び 賃借料	90, 936
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	234, 000
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	272, 220
県支出金	136, 110
地方債	
その他	41,710
一般財源	6, 838, 315

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○地域包括ケアシステム構築推進の取組みのひとつとして、 認知症の人が住み慣れた地域の良い環境の中で生活できるよう支援体制の構築を進める。

#### 【実績】

- ○認知症初期集中支援推進事業 認知症の人やその家族等に早期に関わり、支援の取組みを 推進。
- ①認知症初期集中支援チーム(2チーム配置)による支援 (チームは、医師、看護師、医療相談員、地域包括支援センター職員により構成。)
  - ・チーム協議実件数:5件(うち、支援活動実件数:3件)
- ②支援チームの広報等
  - ・市報掲載、介護保険制度説明会、サロン等にて周知
  - ・認知症相談・ケアサイトにより、事業及び認知症相談先 等の広報 アクセス数:4,811件(29年6月~30年3月)
- ○認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の人やその家族等からの相談支援の推進及び医療 や介護、生活支援サービス等が連携した支援体制構築の推 進
- ①認知症地域支援推進員の配置 更埴地域包括支援センター:7名(正規職員・兼務) 戸倉上山田地域包括支援センター:2名(兼務)
- ②認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催支援や認知症の人と家族の会への協力・支援等を通じて、認知症の人やその家族の相談から、適切なサービスや制度利用への支援等を実施
  - ・オレンジカフェ:2ヶ所(ともに月1回開催)
- ③認知症サポーター養成講座や認知症キャラバンメイト(講座の講師)研修の実施
  - ・認知症サポーター養成講座:開催回数 14回、受講者数 延376人
- ○その他

上記事業推進のための必要な研修の受講

#### 【成果等】

○地域包括支援センター(2 箇所) 及びブランチ(3 箇所) での 認知症に係る相談支援延件数 668 件(平成 28 年度 386 件)

#### 【今後の方向性】

○今後、後期高齢者が増加する中で、認知症の疑いのある人の早期診断対応の必要性の周知と相談支援体制の推進を図る。

### 第五 ≪高齢者福祉施策の推進≫

事業名

介護予防 • 日常生活支援総合事業

担当課名

高齢福祉課

#### 事業費

決算	額(円)
	92, 660, 705
節 別	内 訳(円)
報酬	3, 487, 726
給料、 職員手当等	5, 779, 700
賃金	
報償費	415, 000
旅費	
需用費	174, 055
役務費	206, 156
委託料	18, 709, 070
使用料及び 賃借料	92, 452
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	63, 796, 546
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内訳(円)
国庫支出金	20, 941, 600
県支出金	11, 388, 500
地方債	
その他	43, 722, 592
一般財源	16, 608, 013

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○独居高齢者、高齢夫婦世帯、認知症高齢者が増加する中、 住み慣れた地域で生活を続けられるよう、介護・医療・生 活支援・介護予防が包括的に確保される体制等の構築を目 指す。

#### 【実績】

- ①介護予防・生活支援サービス事業(平成29年度新規開始) 要支援者及び国の基準該当者への指定事業者による訪問 型及び通所型サービスの実施
  - (1) 訪問型サービス延利用者数
    - ・介護予防訪問型サービス事業(旧介護予防訪問介護に相当するサービス) 延 311人
    - ・介護予防生活支援サービス事業 延 396人
  - (2) 通所型サービス延利用者数
    - ・介護予防通所型サービス事業(旧介護予防通所介護に 相当するサービス) 延 2,405人
  - ・介護予防運動機能・ミニデイサービス事業 延 822人 (延利用者数は、平成29年5月~平成30年3月長野県国民 健康保険団体連合会審査分の累計)
- ②介護予防ケアマネジメント事業(平成29年度新規開始) 上記①の利用に際してのケアマネジメントを更埴・戸倉上 山田地域包括支援センターで実施(一部、指定居宅介護支援事業所に委託)

実施件数 延2,895件 (うち、委託作成 延698件)

③一般介護予防事業

平成28年度までの介護予防事業を、介護予防・日常生活 支援総合事業の開始に併せて移行。

④事業実施体制

事業の進捗管理は、課内ワーキング(課内各係 1~2 名参加)で協議を図りながら実施した。(7回開催)

#### 【成果等】

○従前の旧介護予防訪問介護及び旧介護予防通所介護利用者は、平成29年度中に、利用者の状況等に応じて、介護支援専門員やサービス提供事業者等の協力も得ながら、介護予防・生活支援サービス事業へ円滑に移行することができた。

#### 【今後の方向性】

○後期高齢者が増加する中で、適切な事業の利用につなげられるようなケアマネジメントを実施していく。

### 第五 ≪高齢者福祉施策の推進≫

事業名

計画推進委員会事業

担当課名

高齢福祉課

### 事業費

争 兼 賀	
決 算	額(円)
	5, 707, 510
節 別	内 訳(円)
報酬	91, 350
給料、 職員手当等	5, 479, 000
賃金	
報償費	
旅費	
需用費	137, 160
役務費	
委託料	
使用料及び	
賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助	
及び交付金	
扶助費	
補償、補填	
及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 707, 510

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○平成30年度から32年度を計画期間とする高齢者福祉施策の指針となる老人福祉計画と介護保険事業に係る保険給付、地域支援事業の円滑な推進及び適正な運営確保のための介護保険事業計画「しなのの里ゴールドプラン 21」を策定する。

#### 【実績】

○高齢者生活・介護に関する実態調査(長野県調査)や厚生 労働省より提供された「見える化システム」により各種データを推計した。

#### [アンケート調査]

ゴールドプラン策定にあたり「高齢者等実態調査」を実施し、 生活実態や介護保険サービスの内容等について意向を把握 した。

元気高齢者 回答数 295 人 (率 73.8%) 要介護 (支援) 認定者 回答数 1,353 人 (率 64.1%)

○計画策定にあたり、しなのの里ゴールドプラン 21 推進等 委員会において、介護報酬改定、制度改正等を踏まえ事業 計画内容等について、幅広く意見を頂戴した。 構成委員 12 名 (うち公募 2 名)

[パブリックコメント]

平成29年12月~30年1月実施。意見応募なし。

#### 【成果等】

○4 回開催。

委員会での協議、報告を経て平成30年3月策定。

#### 【今後の方向性】

○計画を踏まえ、事業を進める。

### 第六 ≪子育て支援施策の推進≫

事業名

産前産後ヘルパー派遣事業

担当課名

こども未来課

#### 事業費

### 決算額(円) 547, 900 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	547, 900

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○産前・産後の体調不良のため、育児や家事の支援を必要とする家庭に訪問して、家事や育児に関するお手伝いを行う。
  - 内容

利用できる方は、千曲市に住所を有する妊産婦で、他に 日中の家事又は育児を行う者がいない世帯のうち、以下 のいずれかに該当する方。

- ・妊娠届を提出した妊婦
- ・出産後6か月未満の方
- ・多胎児を出産後12か月未満の方
- ・市長が特に必要と認めた方

#### 【実績】

○千曲市産前産後へルパー派遣事業実施要綱を制定し、市内 4ヶ所の居宅介護支援事業者と契約。平成30年3月1日 から事業開始となった。 登録者数 0名

#### 【成果等】

○事業開始が平成30年3月1日となったため利用実績がなく、成果等の検証には至らなかった。

#### 【今後の方向性】

○関係部署と情報を共有しながら、サービスを必要とする妊 産婦を把握し、情報提供に努める。 事業名 子育で短期支援事業

担当課名

こども未来課

#### 事業費

### 決算額(円) 1, 208, 750 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 112,950 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	29, 000
県支出金	29, 000
地方債	
その他	
一般財源	1, 150, 750

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○ショートステイ事業は、体調不良等により保護者が児童を 養育することが困難になった場合又は経済的な理由等に より、児童福祉施設において一定期間母子等の養育又は保 護を行う。
  - ・内容

入所対象者は、千曲市内に住所を有する満 18 歳に満たない児童で、保護者が下記の理由で児童の面倒を見られない場合。

- ・病気又は負傷
- ・育児疲れ、慢性疾病児の看病疲れ、育児不安等
- ・出産、看護、事故、災害失踪等
- ・公的行事への参加
- ○トワイライトステイ事業は、仕事などの都合で保護者が児 童を養育することが困難になった場合、その他緊急の場合 に児童福祉施設で一時的に児童を預かる。
  - 内容

入所対象者は、千曲市に住所を有する概ね1歳以上の児童で、保護者が仕事等の理由により平日の夜間又は休日に不在となる家庭の児童。

#### 【実績】

○千曲市子育て支援ショートステイ事業実施要綱を制定し、 児童養護施設恵愛(平成29年7月1日開始)及び善光寺 大本願乳児院(平成30年2月20日開始)と契約し実施した。

登録者数 7名、延べ日数 25日

○千曲市子育で支援トワイライトステイ事業実施要綱を制定し、児童養護施設恵愛(平成29年7月1日開始)と契約し実施した。

登録者数 5名、延べ日数 3日

#### 【成果等】

○保護者の負担を軽減することができた。

#### 【今後の方向性】

○関係部署と情報共有しながら、サービスを必要とする児童 等を把握し、情報提供に努める。

### 第六 ≪子育て支援施策の推進≫

事業名

地域で支える"ひとり親家庭"サポート事業(協働事業)

担当課名

こども未来課

#### 事業費

### **決 算 額 (円)** 4, 469, 368 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 191, 600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 2, 277, 768 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	967, 000
地方債	
その他	
一般財源	3, 502, 368

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○一般的にひとり親家庭は経済的困難を抱えることが多く、 食事や家庭学習が不十分とされている。また、精神面でも 不安定な状況も多い。このため、貧困や孤立といった厳し い生活の現実を抱えがちなひとり親家庭の子どもを対象 に、学習支援や食事の提供を通じて、貧困の連鎖や孤食の 解消を目的とし、公共施設を利用し安心できる居場所づく りを行う。

#### 【実績】

- ○屋代公民館・・・労協ながの(6月から) (11月までは倉科公民館)月1回、年10回開催。参加児童50名 事業費・・745,768円(市委託料745,768円)
- ○稲荷山公民館・・・まちの学校(6月から) 9月までは月1回、10月から月2回、年24回開催。 参加児童 136名 事業費・・766,000円(市委託料766,000円)
- ○戸倉創造館・・・長野県NPOセンター (9月から) 月3~4回、年24回開催。参加児童 85名 事業費・・790,434円(市委託料766,000円)

#### 【成果等】

○学習支援や食事の提供、また、レクリエーションなどを通 じ、子どもが安心して過ごせる居場所づくりができた。 また、参加する子どもが、日々の悩みなどを相談するよう になったり、皆が仲良く勉強し一緒に学び、楽しむことが できた。

- ○児童扶養手当受給者の方へ案内チラシを配布しているが、 新規の参加児童が少ない。また、個人の家庭状況を把握す ることが困難であるため、関係部署との情報共有が重要で ある。
- ○継続的、かつ安定的な事業運営が必要であるため、地域や 社会全体が理解を深め、ボランティアや財源の確保などが 必要である。

### 第六 《子育て支援施策の推進》

事業名

報酬

給料、

賃金

旅費

報償費

需用費

役務費

委託料

賃借料

使用料及び

職員手当等

千曲市三世代同居近居促進事業

8, 243, 700

1,643,700

担当課名

建設課

主要な施策の成果等

## 事業費 決算額(円)

節別内訳(円)

### 【事業目的】

○三世代での同居や近居による家族の支え合いにより、子育 てしやすく、親世代の「見守り」がしやすい住環境を整備 するために実施する住宅の新築、取得、建替、増築、改修 等の費用の一部を助成する。

#### 【実績】

平成29年度実績

(平成29年9月1日~平成30年3月31日)

交付件数 20 件

同居11件(転入4件)、近居9件(転入2件)

交付金額: 6,600,000 円

総合戦略進捗率:50%(目標値40件(H31年度)) 総合計画成果指標:33%(目標値60件(H31年度))

#### 【成果等】

○子育て世代の経済的負担軽減、親世代の「見守り」がしや すい住環境の整備に繋がった。

#### 【今後の方向性】

○補助金に関しては、一度予算化されると事業実績による効 果を評価しないまま交付し、長年にわたり事業を継続する ケースもある。

本補助事業も終期を設定するのか、あるいは、施策を推進 するため長期継続していくのか検討する必要がある。

工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	6, 600, 000
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	
	[ ()

国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源 8,2	43, 700

### 第六 《子育て支援施策の推進》

事業名

子育で応援アプリ運用保守委託事業

担当課名

こども未来課

#### 事業費

### 決算額(円) 1,902,900 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,643,700 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 259, 200 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 902, 900

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○子育て応援アプリを活用し、子育てに関する情報を一元化 し、子育て世帯に情報発信を行う。
  - 内容

妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイス、発達段階や子育てにまつわる記念日を写真やメッセージと共に記録し、子どもの成長・発達の目安としての役割も備える「できたよ記念日」など便利な機能が充実しています。

#### 【実績】

○平成29年7月1日より提供開始 アプリ登録者数 123名

#### 【成果等】

○子育て世代が抱える不安等の解消や、ホームページとリンクした子ども関連の情報発信ができた。

また、お子様の成長を通して、ご家庭内や子育で仲間同士のコミュニケーションツールとして活用できた。

#### 【今後の方向性】

- ○利用者サイドからみて使いやすい機能強化のため、現在バージョンアップをしており、機能強化終了しだい改めて周知し利用者拡大に努める。
- ○行政のほか、子育てサークル等からもアプリを利用した情報発信が行えるようにする。

また、子育て世代だけでなく、結婚や妊娠を希望する人など、ライフステージに合わせたサポートも行っていく。

### 第六 《子育て支援施策の推進》

事業名

市立保育園耐震改修事業

担当課名

保育課

#### 事業費

### 決算額(円) 18, 853, 900 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 2, 160, 000 使用料及び 賃借料 工事請負費 16, 146, 000 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	17, 100, 000
その他	
一般財源	1, 753, 900

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○耐震化工事を計画的に進め、安全で質の高い保育サービ ス環境を提供する。

#### 【実績】

- ○埴生保育園耐震改修事業
- · 埴生保育園耐震改修等工事
- 16, 146, 000 円
- ・埴生保育園耐震改修等工事監理業務委託 1,123,200円
- ○杭瀬下保育園耐震改修事業
- · 杭瀬下保育園耐震改修事業実施設計業務委託

1,036,800 円

#### 【成果等】

○園舎の耐震補強工事を実施することにより、安全で質の 高い保育サービス環境が提供できるようになった。

#### 【今後の方向性】

○「千曲市立保育園第1次整備計画」「公共施設等管理計画」「公共施設再編計画」「個別施設計画」との整合を図りながら、計画的に整備・改修を進めていく。

### 第六 ≪子育て支援施策の推進≫

事業名

幼稚園保育料(授業料)多子世帯特別補助事業

担当課名

保育課

### 事業費 決 算 額(円) 1, 368, 100 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 820, 200 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 368, 100

公課費

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○多子世帯の保育料に掛かる経済的負担の軽減を目的として、 引き続き幼稚園通園者の保育料(授業料)の軽減を市単独 事業として行う。
  - 内容

18 歳未満(4月1日現在)で同一世帯のきょうだいの うち、第2子以降の園児を対象に保育料の半額を目安 に補助する。幼稚園就園奨励費が該当しない家庭も 要件に該当する場合は対象とする。

#### 【実績】

- ○補助金支出額 820,200 円
  - ※上記支出は、幼稚園就園奨励費補助金 24,370,700 円の 支出に含まれています。
- ○対象園児数 14人

#### 【成果等】

○多子の子育て世帯に対する経済的負担軽減につながった。 また、比較的収入の少ない、若年層世代の経済的負担の軽減 も図られている。

#### 【今後の方向性】

○保育園を利用する保護者と同様に、多子世帯の経済的負担の 軽減を図っていく。

### 第六 《子育て支援施策の推進》

事業名

多子世帯保育園保育料の市単独軽減事業

担当課名

保育課

### 事業費

#### 主要な施策の成果等

決 算	額	(円)	
			547, 900
節別	内 訳	(円)	
報酬			
給料、 職員手当等			547, 900
賃金			
報償費			
旅費			
需用費			
役務費			
委託料			
使用料及び 賃借料			
工事請負費			
原材料費			
公有財産 購入費			
備品購入費			
負担金、補助			
及び交付金			
扶助費			
補償、補填 及び賠償金			
公課費			

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	547, 900

### 【事業目的】

- ○多子世帯の保育料に掛かる経済的負担の軽減を目的として、 引き続き保育園通園者の保育料の軽減を行う。
  - 内容

国の保育料軽減制度(複数同時通園第2子半額、第3子無料など)の対象とならない児童の保育料について、同一世帯の18歳未満のきょうだいのうち、上から数えて2人目以降の場合に保育料を半額とする。

#### 【実績】

- ○保育料減額分 76,707,500 円
- ○対象園児数 539人

#### 【成果等】

○多子の子育て世帯に対する経済的負担軽減につながった。 また、比較的収入の少ない、若年層世代の経済的負担の軽減 も図られている。

#### 【今後の方向性】

○3 歳未満児の入園増加に伴う保育士の増員体制を整えること が今後の課題である。

### 第六 《子育て支援施策の推進》

事業名

母子保健事業

担当課名

健康推進課

#### 事業費

·	<b>額</b> (円)
0 91	102, 077, 511
報酬	3, 104, 600
給料、 職員手当等	44, 927, 800
賃金	4, 396, 320
報償費	72,000
旅費	
需用費	968, 814
役務費	181, 736
委託料	44, 691, 620
使用料及び 賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	47, 520
負担金、補助 及び交付金	3, 687, 101
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	102, 077, 511

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○乳幼児期から生涯を通じた健康づくりを推進及び母子の 健康の保持増進を図る。

#### 【実績】

- 1 妊娠届者数 397 人(母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診 券交付)
- 2 たまご教室 75 人(延)
- 3 妊婦歯科検診 105 人 (受診率 26.4%)
- 4各種乳幼児健診・離乳食相談受診者2,375人(受診率97.9%)
- 5 育児相談利用者 659 人(延)
- 6個別心理・言語相談 197人(延)
- 7 すくすく広場 (フォロー教室参加者) 237 人 (延)
- 8 わかば支援事業 (不妊治療助成) 34 件
- 9 赤ちゃん訪問 359 件 (368 人)
  - \*早期対応等ハイリスク者訪問 49件(再掲)
- 10 こどもノート配布 (H29.4月生~) 399件
  - \*入院、里帰り等で赤ちゃん未訪問は3か月児健診で配布

#### 【成果等】

○乳幼児健診・離乳食相談の受診率は97.9%と高く、乳幼児の健康保持、発育発達の支援につながっている。個別心理・言語相談、すくすく広場等でのフォロー事業は、乳幼児の成長にあった関わり方等の支援と、母親の育児不安の軽減、乳幼児の発達を促す支援となっている。

#### 【今後の方向性】

○保護者が子供の成長・発達を理解し、望ましい接し方、生 活習慣・食習慣について考え、よりよい育児ができるよう に保健指導に取り組む。

妊娠、出産、育児期の切れ目ない健康支援が深まるように 関係機関と連携を図る。

### 第七 《文化財の活用と保護・継承》

事業名

松田家資料整備事業

担当課名

歴史文化財センター

#### 事業費

#### 決 算 額(円) 25, 579, 589 節別内訳(円) 報酬 給料、 8,766,400 職員手当等 賃金 報償費 162,050 95,680 旅費 需用費 975, 394 役務費 66, 273 委託料 6, 255, 594 使用料及び 18, 478 賃借料 工事請負費 4, 739, 720 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 3,500,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 1,000,000 及び賠償金 公課費

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	25, 579, 589

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○千曲市歴史的風致維持向上計画に基づき、八幡地区の活性 化を図る。

武水別神社神主松田家の建物や史料を広く公開し、活用を図るため、整備を行う。

#### 【実績】

○9月6日の火災により、松田家住宅主屋等が焼損してしまったため、整備事業は一旦中断し、火災後の応急処置を実施した。

9月6日 火災により松田家住宅主屋などが焼損

9月7日 緊急松田家資料保存整備委員会開催 今後の対応について協議

9月25日、10月2日 文化財レスキュー実施 県内の学芸員など95名の応援をいただく

12月6日 松田家資料保存整備委員会開催 再整備方針案を審議

12月21日 再整備方針・計画策定

1月25日 県文化財保護審議会、主屋等の県宝解除答申

2月13日 県宝指定解除

2月21日 主屋等、市指定文化財に指定

2月22日 斎館実施設計、解体工事等に市街なみ環境 整備事業補助金交付決定

3月28日 斎館焼損調査、解体工事完了

#### 【成果等】

○火災により整備計画の抜本的な見直しが必要となった。 また、松田氏所有の斎館も類焼したため、斎館修理に向けて、解体調査費の補助をした。

#### 【今後の方向性】

○当初の計画では平成 30 年度に一般公開を予定していたが、火災により事業の大幅な見直しが必要となった。 新たに再整備計画を策定し、平成 34 年度の公開を目指すこととした。

#### 第八 ≪新庁舎等の建設≫

事業名

新庁舎等建設事業

担当課名

新庁舎建設室

#### 事業費

油. 答	· 始 (田)		
大 昇	額(円)		
	2, 855, 722, 870		
節 別	内 訳(円)		
報酬			
給料、 職員手当等	16, 437, 000		
賃金			
報償費			
旅費	68, 640		
需用費	91, 811		
役務費	2, 413, 000		
委託料	59, 956, 632		
使用料及び			
賃借料			
工事請負費	2, 687, 778, 000		
原材料費			
公有財産 購入費	64, 370, 820		
備品購入費			
負担金、補助			
及び交付金			
扶助費			
補償、補填 及び賠償金	24, 606, 967		
公課費			

財源內訳(円)		
国庫支出金	64, 306, 000	
県支出金	38, 400, 000	
地方債	2, 397, 700, 000	
その他		
一般財源	355, 316, 870	

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○新庁舎の建設により、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図る。また、老朽化の著しい更埴体育館と一体的に整備することにより、防災拠点・緊急避難所等としての互いの機能向上を目的としている。

#### 【実績】

- ○新更埴体育館の建設工事に着手後、ほぼスケジュール通り に進捗した。
- ○旧更埴体育館の解体工事完了後に新庁舎の建設に着手したが、計画より約2か月遅れの着手となった。
- ○関連工事として、立体駐車場の建設工事等に着手した。
- ○新庁舎において使用する什器の選定(新規購入/既存使 用)に着手した。

#### 【成果等】

○コンストラクション・マネジメント業務委託を実施して、 関連する工事間の調整を効率的に行い、新庁舎等の実施設計、施工に反映させている。

- ○関連工事が互いに及ぼす影響を把握し、入念な工事間調整 をする必要がある。
- ○遅延している工程に対応して、工期延長を行う。
- ○工期延長に伴い、開庁時期及び現庁舎からの移転計画の検 討を行う。

第九 ≪公共施設の再編≫

事業名 公共施設の再編 担当課名

財政課

#### 事業費

### 決 算 額(円) 4,872,100 節別内訳(円) 報酬 給料、 3, 835, 300 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 1,036,800 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	4, 872, 100	

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○平成27年度に策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の財政負担を軽減するため、老朽化した公共施設等を中心にインフラを含む総量13%縮減という数値目標を設定し、公共施設については、対象施設の個別施設ごとの再編計画を策定し、公共施設の総量縮減に取り組む。

#### 【実績】

○対象施設毎に施設情報を記載した「施設カルテ」等の更新 を行うと共に、今後の公共施設再編計画及び個別施設計画 策定の際の判断材料を収集した。

また、係長以上を対象にした「個別施設計画策定に向けた職員説明会」を開催した。

#### 【成果等】

○「個別施設計画策定に向けた職員説明会」を実施したことにより、職員に対する意識付けができた。今年度は更に「個別施設計画」策定に向けた説明会を実施し、理解を深めると共に、公共施設再編計画及び個別施設計画策定事業の推進を図り、公共施設の総量縮減に向けた取り組みを推進する。

#### 【今後の方向性】

○「施設の統廃合」については、市民に対し慎重な対応に努め、合意形成を図るとともに、確実な実施につなげることが必要と考える。

#### 第十 ≪市民とともに歩む市政≫

事業名

協働のまちづくり推進事業

担当課名

総合政策課

#### 事業費

<b>油</b> 質	額 (円)
(人) 并	
	17, 391, 262
節別	内 訳(円)
報酬	107, 100
給料、 職員手当等	4, 383, 000
賃金	
報償費	
旅費	53, 330
需用費	4, 491
役務費	
委託料	5, 704, 919
使用料及び	
賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産	
購入費	
備品購入費	
負担金、補助	7, 138, 422
及び交付金	1, 100, 422
扶助費	
補償、補填	
及び賠償金	
公課費	

財源内訳(円)			
国庫支出金			
県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	17, 391, 262		

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○地域課題を市民とともに解決しながら、まちづくりを進めるために、「千曲市協働のまちづくり行動計画」に引き続き策定した「第2期行動計画」の具体的な取組みとして、『千曲市協働事業提案制度』をはじめとした協働のまちづくりを推進するために事業を実践する。

#### 【実績】

- ○「千曲市協働事業提案制度」の実施
  - 実施事業数 継続事業 6 事業 6 団体 新規事業 5 事業 8 団体
  - ・平成29年度募集 応募件数 4事業4団体 採択件数 3事業3団体
- ○市民活動団体交流会『街まちミーティング』及び『街まちフェスタ』を市民活動団体との協働により開催
  - ・街まちミーティング 2回 参加人数 延べ144人
  - ・街まちフェスタ 1回 参加団体 29団体 来場者数 約500人
- ○「行動計画」に掲げられている個別の事業を共通の評価基準により評価
  - ・評価対象事業 39事業 (12課1局)
  - · 自己評価→内部評価→外部評価
  - ※外部評価機関:千曲市協働のまちづくり市民委員会

#### 【成果等】

- ○協働事業提案制度の実施により、市民と行政が対等に協議できる場面が増えた。また、市職員の協働に対する意識の向上を図りながら、市民からの専門的なノウハウやアイデアを取り入れることができた。
- ○市民活動団体交流会の開催により、市民同士の交流と連携 を促進することができた。
- ○協働のまちづくり市民委員会による外部視点からの客観 的な評価を実施することができた。また、協働事業の透明 性を高め、市民の理解を得るとともに、参加意欲を高める ために、評価結果を公表した。

- ○行政側の「協働のまちづくり」に向けた意識をさらに高め、 市民活動団体だけではなく、区・自治会とも連携を深めていくことが必要となる。
- ○「行動計画」の外部評価体制のあり方について検討している。

#### ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

#### (1) 広域的な道路整備

### 事業費 決算額(円) 4, 570, 835 節別内訳(円) 報酬 給料、 4, 383, 200 職員手当等 賃金 報償費 旅費 2,200 需用費 73, 435 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 112,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源內訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	4, 570, 835	

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

- ○国道 18 号坂城更埴バイパスの事業化区間の早期完成及び未 事業化区間の早期事業化を要望
- ○国道 18 号杭瀬下交差点の改良事業等の要望
- ○県道路整備の要望

#### 【実績】

○平成29年8月8日に、「新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会」で、県及び長野国道事務所に全線完成の早期実現を要望した。

平成29年11月7日に、「新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会」で、国に国道18号上田バイパス第二期工区建設促進及び新国道上田篠ノ井間の早期建設を要望した。

- ○国道 18 号杭瀬下交差点の改良事業については、沿線住民を対象に設計説明会を行った。
- ○県事業の「大町麻績インター千曲線」については、平成 29 年7月12日同期成同盟会で扇平地区の早期完成を要望した。

#### 【成果等】

- ○稲荷山~長野市篠ノ井塩崎間のトンネル掘削工事に向けて予 定地の地盤改良工事を行った。
- ○国道 18 号線杭瀬下交差点改良事業は対象箇所の用地取得を 開始した。
- ○県事業の「大町麻績インター千曲線」について、扇平橋を 含めた道路整備L=740mが、H30.11月に完成予定。

#### 【今後の方向性】

○国道及び県道整備については、引き続き国や県に対し要望を 行っていく。

### ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

#### (1) 広域的な道路整備

事業名 姨捨スマートIC整備事業	担当課名	建設課
------------------	------	-----

### 事業費 決 算 額(円) 2, 425, 602 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 191, 600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 32,720 需用費 役務費 委託料 使用料及び 141, 282 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 60,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源內訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2, 425, 602	

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○姨捨スマート IC は市の西側の玄関口であり、姨捨スマート IC のフル規格化に向けた段階的な実施により、温泉等の観光 振興や地域企業の経済活動に寄与すると伴に、市民の利便性 の向上を図る。

#### 【実績】

- ○平成29年5月26日に「姨捨スマートICフル規格化に関する 周辺道路整備の基本計画」が策定したことによる説明を県道 路建設課へ説明した。
- ○平成29年7月28日、市が国土交通省へ主に24時間化への要望活動を行った。
- ○平成30年2月8日姨捨スマートIC推進協議会及び市議会自 民公明議員団が長野県選出自民公明党議員へ主に24時間化 への要望活動を行った。

#### 【成果等】

○1 日平均の利用台数、平成 27 年度は約 990 台、平成 28 年度 は約 1,015 台、平成 29 年度は約 1,060 台と利用を増加させて いる。

#### 【今後の方向性】

○フル規格化推進に向けた段階的整備のうち、24 時間化が実現 し、第 2 段階の全車種適用に向け、調査・研究を重ね、関係 各所と協議していく。

#### ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

#### (1) 広域的な道路整備

事業名	市道鋳物師屋寂蒔線整備事業	担当課名	建設課
-----	---------------	------	-----

### 事業費 決算額(円) 54, 729, 334 節別内訳(円) 報酬 給料、 5, 479, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 496,800 使用料及び 139, 740 賃借料 46, 597, 034 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 2,016,760 及び賠償金 公課費

財源内訳(円)		
国庫支出金	27, 088, 000	
県支出金		
地方債	19, 900, 000	
その他		
一般財源	7, 741, 334	

### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○市道鋳物師屋寂蒔線は、都市計画道路千曲線として全体延長 9070m間の鋳物師屋・寂蒔地区 650mのバイパス区間であり、 合併後の地域を連絡する千曲市の主要幹線道路である。地域 間を結ぶ円滑な交通を確保し、地域の一体性の確保と均衡あ る発展を目指す。

新庁舎建設に合わせ、本路線の沿線において店舗や分譲住 宅の開発等が盛んに行われており、交通量が増加し、未改良 区間付近の道路において、慢性的な渋滞が発生している。 このため地域間を結ぶ安全かつ円滑な道路環境を確保する観 点から、早急な整備が必要である。

#### 【実績】

- ○仮設道検討業務 1式
- ○仮設道用地借上 3件 A=386.3 m²
- ○道路改良工事 L=149.5m

【内訳】車道As舗装A=915 ㎡ 、歩道インターロッキン グブロックA=583 ㎡ 、側溝工L=388m

○工作物補償等 5件

【内訳】電柱1件 立木4件

#### 【成果等】

○平成28年度の繰越予算(3千2百万円)及び平成29年度予算により工作物補償等を完了させ、工事の最終区間となる241.3mの工事に着手し事業の進捗を図った。

#### 【今後の方向性】

○最終区間に着手しており、平成30年度に市道1-21号線と暫定接続を行う。バイパス区間の完成により道路の交通渋滞の緩和と利便性の向上を図り、合併の大きな目的である地域の一体感が更に図られる。

#### ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

#### (1) 広域的な道路整備

事業名	市道1−21号線整備事業	担当課名	建設課
-----	--------------	------	-----

### 事業費 決 算 額(円) 126, 625, 279 節別内訳(円) 報酬 給料、 6,026,900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 972,000 使用料及び 53,770 賃借料 43, 336, 479 工事請負費 原材料費 公有財産 18, 261, 029 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 57, 975, 101 及び賠償金 公課費

財源内訳(円)				
国庫支出金	66, 329, 000			
県支出金				
地方債	48, 800, 000			
その他				
一般財源	11, 496, 279			

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○市道1-21号線は、都市計画道路千曲線として全体延長9070m間の800m区間であり、合併後の地域を連絡する千曲市の主要幹線道路である。地域間を結ぶ円滑な交通を確保し、地域の一体性の確保と均衡ある発展を目指す。地域の生活道路、通勤通学路としてばかりでなく、近年は国道18号、堤防道路の迂回路として利用されていることから交通量は増加の一途をたどっており、円滑で安全な交通の確保が急務となっている。

#### 【実績】

- ○伏し越部修正設計業務 1式
- ○作業用地借上 2件 A=190 m<sup>2</sup>
- ○道路改良工事 L=179m

【内訳】函渠工L=18m、側溝工L=90m、 管きょ工L=21.5m

- ○用地買収面積 6件 A=675.05 m²
- ○工作物補償等 12件

【内訳】電気工作物7件、工作物移転5件

#### 【成果等】

○平成28年度の繰越予算(7千3百万円)及び平成29年度予算により用地買収と工作物補償等と、L=115mの道路改良工事を行い千曲線の早期完成に向けて事業の進捗を図った。

#### 【今後の方向性】

○市道 1-21 号線整備事業は平成 26 年度から第 2 期分とした事業延長 L=800mに着手し、平成 29 年度において沿線の用地補償等が完了予定であるため、今後は平成 31 年度の事業完了を目指し、工事の実施に重点をおき進捗を図る。

#### ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

(2)駅のバリアフリー化

事業名しなの鉄道受託駅運営事業	担当課名  生活安全課	
-----------------	-------------	--

### 事業費 決 算 額(円) 17, 142, 924 節別内訳(円) 報酬 12,650,650 給料、 1, 643, 700 職員手当等 賃金 1,861,800 報償費 旅費 需用費 698, 399 役務費 104,880 委託料 49,624 使用料及び 133,871 賃借料 工事請負費 原材料費 有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源內訳(円)				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	17, 142, 924			

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○高齢者や障害を持った方がスムーズに鉄道を利用できるよう、戸倉駅のバリアフリー化をしなの鉄道(株)に働きかける。

#### 【実績】

○1 日の乗降客が3千人以上でないと運行事業者にエレベーターの設置義務がない状況下のなかで、しなの鉄道(株)と戸倉駅のバリアフリー化について協議を行ってきた。 (全7回)

#### 戸倉駅1日の乗降者数

人

	H27	H28	H29
1日の乗降者	2, 291	2, 196	2, 280

#### 【成果等】

○しなの鉄道(株)と協議を行った結果、戸倉駅前の活性化と 一体として進めることで合意した。

- ○市、しなの鉄道(株)、地方運輸局からなる協議会を立ち上 げる。
- ○協議会において整備計画を策定する。

# ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

## (3) 空き家対策の推進

事業名 千曲市空家等対策計画策定事業 担当課名 建設課

# 事業費 決算額(円) 5,096,400 節別内訳(円) 報酬 37,800 給料、 3, 287, 400 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 1,771,200 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 096, 400

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○空家の発生抑制、適正管理の促進、有効活用等の対策を総合的かつ計画的に推進するために「千曲市空家等対策計画」を策定する。

#### 【実績】

○空家等対策の推進に関する特別措置法第6条第1項に基づく空家等対策計画を策定した。

策定に関する支援業務を業者委託し、空家等対策協議会で の協議を経て、平成30年3月に完成した。

契約期間:平成29年7月27日~平成30年3月30日

契約先: ㈱大輝 千曲営業所 契約金額: 1,771,200 円

空家等対策協議会開催:1月18日、2月28日

## 【成果等】

○空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための対策計画を策定することができた。

# 【今後の方向性】

○空家等は財産権や所有権に基づき所有者等が管理するものであることから、対応については所有者等に求めることを基本とし、所有者等が自己解決できるよう助言・指導(適正管理を促すことや利活用等についての情報提供)を行っていく。

また、地域の安全安心を確保するため、必要最小限の中で、公益性に基づく危険排除の対応を行っていく。

# ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

## (4) 観光交流の推進

事業名 観光交流の振興 担当課名 観光交流	事業名	で流の振興		担当課名	観光交流課
-----------------------	-----	-------	--	------	-------

# 事業費 **決 算 額 (円)** 9, 413, 015 節別内訳(円) 報酬 給料、 職員手当等 賃金 1,098,420 報償費 142,000 旅費 2,012,055 需用費 484, 017 役務費 288,096 委託料 3, 703, 482 使用料及び 247, 945 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1, 437, 000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	9, 413, 015

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○千曲市の知名度を高め、来訪者の増加に繋げる。

#### 【実績】

- ○情報発信
  - 1. テレビ放映 テレビ東京、テレビ信州 他
  - 2. 観光大使委託
  - 3. その他観光宣伝委託
- ○旅行商品販売促進

首都圏や北陸方面の旅行商品商談会参加や観光宣伝 宣伝先 埼玉県、東京都、愛知県、大阪府、石川県、 富山県など

○広告宣伝

観光ポスター・パンフレット

- ○「トランスイート四季島」を活用した観光の推進 JR 豪華列車「トランスイート四季島」やしなの鉄道観 光列車「ろくもん」が姨捨駅へ停車する際に、信州 DC の 一環としてお出迎えやお手振りでおもてなしを行った。 また、四季島が県内で唯一「姨捨駅」に停車することを 観光イベント等で PR で活用した。
- ○インバウンド観光の推進

千曲市の外国人来訪者数の最も多い、台湾人観光客の誘客のため、台湾での観光 PR 及び商談会へ参加、台湾メディア・パワーブロガーの招聘。

「関東観光広域連携事業推進協議会」が実施を予定していた長野県への外国人観光客誘客事業が中止となったが、連携して海外での商談会へ参加した。

宣伝先
台湾(台北、台中、高雄等)、タイ王国、中国

# 【成果等】

- ○千曲市におけるイメージアップのための宣伝活動と合わせて、精力的に広報活動を行った。
- ○戸倉上山田温泉の外国人宿泊客数が増加した。
- ○インバウンドにおける海外旅行会社などへのネットワー クづくりを行った。

- ○千曲市の認知度をさらに向上させ誘客促進を図る。
- 1. 信州千曲観光局等の関係機関と連携し市内外に観光情報を発信する。
- 2. さらなる誘客の促進及び広域観光の推進を図る。
- 3. 外国人観光客の誘客に向けた観光 PR 及び受入環境の体制の整備。

# ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

## (5)雇用の推進

事業名	雇用対策事業	担当課名	産業振興課
-----	--------	------	-------

# 事業費 決算額(円) 2, 976, 436 節別内訳(円) 報酬 3, 150 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 48,600 需用費 67, 362 役務費 委託料 128, 632 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1,632,892 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 976, 436

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○有効求人倍率は依然高水準で推移しているが、人手不足業種の求人と求職者の希望職種や労働条件等のミスマッチが続いている傾向がある。就労支援講座の開催などで求人を雇用につなげていく。また、無料就職情報サイト「おしごとながの」の活用や、周辺市町村と連携し学生を地元就職に結びつける合同就職面接会などを実施する。

# 【実績】

○就労支援講座

会場:上山田庁舎 対象:年齢制限無し

相談員:労協ながの職員(受託者) 内容:年度内4回の講座開催

実績:参加者延べ9名

○若者・子育て世代の就労相談(県事業への参画)

就職を希望しながら一歩を踏み出すことができずに悩んでいる若者や子育て世代に対し、専門家による相談業務、就職活動に役に立つスキル講座の紹介や相談場所の提供、他の就労支援事業も紹介。

○更埴地域就職面接会

日時:10月30日(月)13時 主催:ハローワーク篠ノ井

共催:千曲市、更埴職業安定協会

参加求職者:42名 参加企業:27社

○求人情報サイト「おしごとながの」

市内登録企業数 28 社

○長野地域UJIターン就職促進事業

面接会等開催数 9回 企業向けセミナー2回 市内参加企業206社 参加学生等 284人

# 【成果等】

- ○就労相談・就労支援講座を通じ就職に必要なスキル等を身 につけ、それぞれに合った就職に結びつけた。
- ○UJI ターン就職促進事業により圏域内出身の学生の地元へのUターン就職に結びつけた。

- ○キャリア教育に対する産業界との連携強化
- ○就職のミスマッチ解消及び定着率の向上に向けた支援の 取組を行う
- ○求人倍率の上昇等による求職行動への変化への対応

# ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

## (6)農林業の振興

事業名 6次産業化推進事業	担当課名	農林課
---------------	------	-----

# 事業費 決 算 額(円) 629,000 節別内訳(円) 報酬 給料、 540,000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 89,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	629, 000

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○農産物の加工から流通まで一体的に取り組むことにより、 農業者の所得向上を図る。

# 【実績】

○県の信州 6 次産業化推進協議会地域推進員との情報交換 を実施した。

食品加工施設「工房アプリコ」が地域づくり支援金を活用して商品開発や加工場の改修などを行った。また、「工房アプリコ」のあんずの栽培試験に補助を行った。

#### 【成果等】

○ワイナリー設置に関して、制度資金や交付金の制度を活用するためには販売実績をつくっていくことが重要であることがわかった。

「工房アプリコ」の経営が安定化し、地域で養った加工 技術を生かし、付加価値のある商品開発を行い、あんずの 里の振興、保護に繋がった。

- ○付加価値の高い地場産品の創造
- ○農業生産の安定化、省力化等の実現による生産性の向上

賃借料

工事請負費

原材料費

公有財産

備品購入費

負担金、補助

及び交付金

補償、補填

及び賠償金

購入費

扶助費

公課費

# ≪千曲の魅力で創生する賑(にぎ)わいと活力あるまち≫

## (6)農林業の振興

事業名	松くい虫防除対策事業	担当課名	農林課
-----	------------	------	-----

# 事業費 決 算 額(円) 32, 110, 210 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 191, 600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 64, 186 役務費 委託料 29, 521, 584 使用料及び

財源	内 訳(円)
国庫支出金	14, 018, 000
県支出金	1, 165, 600
地方債	
その他	
一般財源	16, 926, 610

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○治山、景観の面から健全な松林の育成を図るため、主に伐 倒駆除を実施する。

# 【実績】

施業種類	内 容	決算額(円)
伐倒駆除	くん蒸処理 1,005 m³	28, 608, 984
地上散布	0. 3ha	205, 200
松くい虫被害木 調査	市内森林の被害木調査	707, 400
松くい虫被害防 除対策補助金	伐倒駆除 4件	332, 840

#### 【成果等】

- ○依然として松くい虫被害の終息には至らないが、伐倒駆除 実施地区及び地上散布実施地区での被害の拡大は小さく することができた。
- ○平成29年度より制定した、個人への松くい虫被害対策補助金活用事業により個人が所有する松の対策を進めることができた。

#### 【今後の方向性】

332, 840

- ○市内の松くい虫被害を解消するには、被害木を皆伐するし か方法は無いが、経費が掛かりすぎ実施は困難な状況であ る。
- ○今後の対策として、被害区域の拡大を防止することと、守るべき松林を保全していくことを課題に、国、県の補助事業を活用しながら伐倒駆除を継続して行っていく。

また、松くい虫被害防除対策補助金制度の周知を行い引き続き個人の防除対策推進を行う。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名

キャリア教育推進事業

担当課名

教育総務課

#### 事業費

# 決 算 額(円) 2, 293, 498 節別内訳(円) 報酬 2,037,600 給料、 164, 370 職員手当等 賃金 報償費 44, 548 旅費 需用費 46,980 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 293, 498

公課費

#### 主要な施策の成果等

## 事業目的

○小学校における職場見学や中学校における職場体験を通じて、子どもたちの社会的・職業的自立に必要な能力や態度の育成を図るため、学校と企業のパイプ役となるキャリア教育コーディネーター1名を配置し、キャリア教育推進委員会の運営等を行うとともに、商工団体や教育関係者等を委員とする千曲市雇用促進連絡協議会とも連携を図りながら、学校におけるキャリア教育を支援する。

#### 【実績】

- ○千曲市雇用促進連絡協議会へ参加し、関係機関との連携を図り、中学生の職場体験学習協力事業所の開拓及び登録推進を行った。
- ○キャリア教育推進委員会の開催2回
- ・本年度のキャリア教育推進計画について(各校)
- ・キャリア教育推進にかかわる課題について(各校)
- ○職場見学の実施 小学校全校
- ○職場体験の実施 中学校全校 (職場体験3日間、農業体験2 校)

#### 【成果等】

○職場見学・職場体験・公開授業等を通して、子どもたちの社 会的・職業的自立に向けられた育成と教職員のキャリア教育 に対する理解が図られてきた。

#### 【今後の方向性】

○キャリア教育コーディネーターを中心に、学校における職場 見学や職場体験の充実・強化に向けて、受け入れ企業や職場 の開拓等を進める一方、キャリア教育に対する理解を深めて いただくため、企業・地域・家庭への啓発に努めたい。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名

特別支援教育支援員配置事業

担当課名

教育総務課

# 事業費 決算額(円) 28, 927, 715 節別内訳(円) 報酬 給料、 986, 220 職員手当等 賃金 27, 580, 560 報償費 旅費 297, 629 需用費 役務費 39, 162 委託料 使用料及び 18, 144 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 6,000

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	28, 927, 715

及び交付金

補償、補填

及び賠償金

扶助費

公課費

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

- ○学級担任等の補助者として、障がいにある児童生徒の学習や 日常生活での支援を行う特別支援教育支援員を配置する。
- ○言語障害や発達障害を持つ児童に、特別な指導を行うための 通級指導教室を運営する。

## 【実績】

- ○支援員を小中学校に 41 名配置した。 (支援員数: H22-23 名 H23-31 名 H24-35 名 H25-34 名 H26-35 名 H27-37 名 H28-39 名)
- ○カウンセリング機能充実のため、屋代中・更埴西中・戸上中 を拠点校とし、スクールカウンセラー2名を配置した。
- ○言語障害を持つ児童を対象にした通級指導教室(屋代小:ことばの教室 通級者25名)発達障害を持つ児童を対象にした通級指導教室(戸倉小:笑顔の教室 通級者15名)の運営を行った。

#### 【成果等】

○教育支援室等主催による、保護者・教員・支援員などを対象 にした研修会・講演会等の実施により、特別な教育ニーズを 持つ児童生徒について、障がいや発達の状況等に応じた適切 な支援が行われた。

# 【今後の方向性】

○インクルーシブな教育のシステム(障がいのある子どもと、 ない子どもがともに教育を受ける仕組み)の構築推進が求め られる中で、学校における「合理的配慮」の提供と「基礎的 環境整備」への対応を図る。

購入費

備品購入費

負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名 副学籍事業

担当課名

教育総務課

# 事業費 決算額(円) 219, 160 節別内訳(円) 報酬 給料、 219, 160 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	219, 160

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○ 在籍校の児童生徒と副在籍校の児童生徒が共に学び育つことができる体制づくりを進め、仲間意識を育てることにより、 共生社会につながる行動力と豊かな人間性を育む。

#### 【実績】

○平成29年5月10日現在で、稲荷山養護学校の児童生徒が14 名、長野盲学校の児童で1名の申請があった。

#### 【成果等】

- ○報告書からは、稲荷山養護学校より「下駄箱や机を用意していただき、児童や保護者からも気持ちよく交流ができた。 クラスの一員であることが認知されていた。名前を覚えていてくれた。」等の意見が多数あった。
- ○交流や共同学習を通じて、個々の違いを認めつつも、共に尊 重し合う心を育むことができた。

# 【今後の方向性】

○保護者からは、「交流の機会を増やしてほしい。通常の授業へも参加したい。PTAの親子レクにも参加したい。」等の意見をいただいており、今後どこまで対応できるかを検討する上で、交流の幅を広げていく。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名

小学校屋内運動場大規模改造事業

担当課名

教育総務課

# 事業費 決 算 額(円) 230, 460, 960 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,650,000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 5, 931, 360 使用料及び 賃借料 工事請負費 222, 879, 600 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財源內訳(円)		
国庫支出金	76, 522, 000	
県支出金		
地方債	145, 200, 000	
その他		
一般財源	8, 738, 960	

公課費

## 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○安全で安心な学習環境を確保するため、学校施設の改修・非 構造部材を含めた耐震化を進め、教育環境の整備・充実を図 る。

#### 【実績】

○五加小学校屋内運動場大規模改造事業

工期: H29. 6. 28~H29. 12. 24 建築主体工事 126, 597, 600 円 電気設備工事 10, 260, 000 円 工事監理委託 3, 080, 160 円

主な工事内容:屋根全面張替え、外壁塗装・補修、内壁張替

え、建具交換、窓の交換、渡り廊下補修、照明のLED化、電動スクリーン設置、バスケットゴール・スピーカー等非構造部材の落下

防止

○更級小学校屋内運動場大規模改造事業

工期: H29. 6. 28~H29. 11. 24 建築主体工事 77, 792, 400 円 電気設備工事 8, 229, 600 円 工事監理委託 2, 851, 200 円

主な工事内容:屋根全面張替え、外壁塗装・補修、内壁張替

え、照明のLED化、電動スクリーン設置、 バスケットゴール・スピーカー等非構造部材

の落下防止

#### 【成果等】

○屋内運動場が使用できない期間を最小限として、工事を予定 どおり完成させることができた。これにより、施設の長寿命 化が図られたほか、市内小中学校の全ての屋内運動場につい て、躯体と非構造部材の耐震化が完了し、児童・生徒の安全 な学校生活の確保と避難施設としての安全強化を図ることが できた。

#### 【今後の方向性】

○学校施設の個別施設計画を策定し、適正な時期に適正な補修 や改修を行うことにより、施設を長寿命化させ、施設のトー タルランニングコストの低減を図る。また、定期的な施設点 検や学校側の日常点検で危険箇所が発見されたときは、安全 対策を講じた上で迅速な修繕対応を行い、施設の安全な維持 に努める。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名

小学校游具更新事業

担当課名

教育総務課

# 事業費 決 算 額(円) 66, 489, 000 節別内訳(円) 報酬 給料、 825,000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 5, 324, 400 使用料及び 賃借料 工事請負費 60, 339, 600 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	19, 310, 000
県支出金	
地方債	37, 700, 000
その他	
一般財源	9, 479, 000

公課費

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○平成28年度に行った市内小学校の遊具の一斉点検で、不具合のあった遊具の更新や修繕を実施し、遊具による児童の事故を未然に防ぐ。

#### 【実績】

更新遊具合計62基(鉄棒25、ブランコ12、雲梯8、ジャングルジム・リングトンネルジム等7、はん登棒・登り綱6、シーソー・吊り輪・跳躍台等4)

その他破損遊具の修繕や補修、不用遊具の撤去等を実施

○千曲市立小学校游具更新工事第1工区

(上山田小、戸倉小、五加小、更級小、八幡小)

工期: H29. 9. 25~H30. 2. 28 工事費: 30, 715, 200 円

○千曲市立小学校遊具更新工事第2工区

(屋代小、東小、埴生小、治田小)

工期: H29. 9. 11~H30. 1. 31 工事費: 29,624,400円

## 【成果等】

○「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に準じて、 遊具の更新や遊具同士の間隔を一定以上とる「安全領域」の 確保、ブランコの周囲への安全柵の設置などを行ったほか、 補修や不要な遊具の撤去により、小学校敷地内の全ての遊具 について、児童が安全に遊ぶ環境を整備できた。

#### 【今後の方向性】

○今後も市担当者や専門業者により学校遊具施設の定期的な点検を実施し、危険が見つかった遊具は更新や補修、撤去など必要な措置を講じ、適切な施設の維持管理に努める。また、使用している中で安全に不安がある遊具が見つかった際には、学校との連携を密にし、迅速な安全対応をとるよう心がけ、事故を未然に防止する。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (1)学校教育

事業名

戸倉上山田中学校改築事業

担当課名

教育総務課

# 事業費 決算額(円) 658, 573, 548 節別内訳(円) 報酬 給料、 3,850,000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 415, 988 役務費 440,000 委託料 20,800,000 使用料及び 24, 386, 960 賃借料 工事請負費 608, 642, 800 37,800 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	134, 569, 000
県支出金	
地方債	494, 800, 000
その他	38, 653
一般財源	29, 165, 895

及び賠償金

公課費

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○安全で安心な学習環境を確保するため、学校の改築・耐震化 を進め、教育環境の整備・充実を図る。

## 【実績】

- 〇H27年12月にポンプ室移設工事発注、H28年7月完了
- ○H28年1月から仮設校舎リース契約を継続中
- ○H28年5月に校舎解体撤去工事発注、H29年2月完了
- ○H28 年 12 月に校舎棟建築主体・電気・機械工事契約締結
- ○H29 年 3 月に屋内運動場・武道場建築主体・電気・機械工事 契約締結
- ○H30 年 3 月末現在、校舎棟、屋内運動場・武道場とも建築主体工事の進捗率は 78.9%。

#### 【成果等】

○校舎棟、屋内運動場・武道場の工事が順調に進んだ。

# 【今後の方向性】

- ○平成30年8月完了予定の建設工事と、その後発注予定の外構工事のスケジュール管理に努め、平成30年度末までに外構構工事を完了させる。
  - ·H30年5月 外構 I 期工事発注
    - 8月 建設工事、外構 I 期工事完了
    - 9月 学校引越し 仮設校舎解体工事 外構Ⅱ期工事、外構電気設備工事、外構機械設

12月 外構植栽工事発注

備発注

H31年3月 外構工事完了

# 主要施策 2 │ ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (2) 生涯学習等の推進

事業名	家庭教育支援事業	担当課名	生涯学習課(屋代公民館)
-----	----------	------	--------------

# 事業費 決 算 額(円) 15, 958 節別内訳(円) 報酬 給料、 10,958 職員手当等 賃金 5,000 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	15, 958
n e	

# 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○公民館活動を通して、親子で興味を持って活動できる場づ くり、心豊かでたくましい青少年を育成するための子育て 支援を行う。

## 【実績】

○支援講座「三滝水生生物教室」(7/28) 「倉科の自然を守る会」と共催 参加者 親子12組23人

## 【成果等】

- ○「親子参加」の企画を実施し、親子での対話が増え・協力 して成し遂げることの充実感を共有できる機会につなげ た。
- ○地元の各団体との共催で、親子参加型で運営が出来た。

# 【今後の方向性】

○「親子参加」の企画を、継続して実施する。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

## (2) 生涯学習等の推進

事業名	家庭教育支援事業	担当課名	生涯学習課(戸倉公民館)
-----	----------	------	--------------

# 事業費 決算額(円) 135, 371 節別内訳(円) 報酬 給料、 40, 371 職員手当等 賃金 報償費 15,000 旅費 需用費 役務費 委託料 80,000 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	135, 371

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○公民館活動を通して、親子で興味を持って活動できる場づくり、心豊かでたくましい青少年を育成するための子育て支援を地元団体とともに行う。

#### 【実績】

○支援講座

「小中学生茶道教室」(10/7)「なごみ会」と共催 参加者 親子 10 組 21 人

「小中学生茶道教室」(2/3)「なごみ会」と共催 参加者 親子4組8人

「親子料理教室」(2/17)「かけはしの会」と共催 参加者 親子 12 組 32 人

「親子プラネタリウム教室」(3/21)委託:千曲市環境市民会議参加者 親子44組120人

#### 【成果等】

- ○「親子参加」の企画を実施し、親子での対話が増え・協力 して成し遂げることの充実感を共有できる機会につなげ た。
- ○地元の各団体との共催で、親子参加型で運営が出来た。

# 【今後の方向性】

○「親子参加」の企画を、継続して実施する。

# 主要施策 2 │ ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (2) 生涯学習等の推進

事業名	家庭教育支援事業	担当課名	生涯学習課(上山田公民館)
-----	----------	------	---------------

# 事業費 決 算 額(円) 37, 395 節別内訳(円) 報酬 給料、 27, 395 職員手当等 賃金 報償費 10,000 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	37, 395

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○公民館活動を通して、親子で興味を持って活動できる場づ くり、心豊かでたくましい青少年を育成するための子育て 支援を行う。

#### 【実績】

○支援講座「親子料理教室」(2/10) 「育成会」と共催 参加者8家族28人

## 【成果等】

- ○「親子参加」の企画を実施し、親子での対話が増え・協力 して成し遂げることの充実感を共有できる機会につなげ
- ○簡単でおいしい料理の紹介とともに食育の一助となった。
- ○育成会との共催で、子ども主体の進行運営が出来た。

# 【今後の方向性】

○「親子参加」の企画を、継続して実施する。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

## (2) 生涯学習等の推進

事業名 生涯学習推進事業 担当課名 生涯学習課 生涯学習係

# 事業費 決 算 額(円) 1, 279, 305 節別内訳(円) 報酬 28, 350 給料、 1,041,010 職員手当等 賃金 報償費 51,000 旅費 需用費 115, 785 21,560 役務費 委託料 使用料及び 21,600 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	40, 788
一般財源	1, 238, 517

公課費

# 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○水辺の楽校の供用開始(H23 年 5 月)に伴い、「水辺の楽校親水公園」を有効活用するために、「故郷の自然を知る。 千曲川の魅力を探る。千曲川の歴史を知る。日常ではできない、水辺、自然ならではの体験をする。」ことを目的として「ふるさと自然体験学習会」を開催する。

#### 【実績】

○H29.5.27 (土) ~28 日 (日) に、市内の小学生とその保護者を対象として水辺の楽校親水公園及び千曲川河川敷、大池自然の家で1泊2日の日程で開催。12組33名の参加があった。

水辺の楽校で昆虫・植物及び水生生物の講師を招き観察会を行い、千曲川河川事務所の協力により、千曲川の講義や水質検査を行った。また、仮設プールにて魚のつかみどり体験を行った。

大池自然の家では、ストーンペイント、アウトドアタ食作り等を実施し、講師による星空観察、千曲川と自然に関する講義、野鳥観察会を行った。

参加した保護者からは、子どもたちが日頃体験できなくなっている事を体験でき、有意義であったと評価を得た。子どもたちも、初めての体験や、日頃、触れる機会のない水生生物等を目のあたりにし感心を持ってくれた。概ね好評であり、今後も継続の要望が多くあった。

#### 【成果等】

○現代の子どもたちの自然体験や生活体験不足の改善のため「水辺の楽校親水公園」を利用し、水辺の体験学習の場を提供するとともに、自分たちが生活する身近な自然を知ることにより、子どもたちの健全育成を図ることができた。

参加者が、大池自然の家が主催する他の事業へ興味を持ち、参加してもらえる。

#### 【今後の方向性】

○水辺の楽校の供用開始から一定期間が経過したことを理由に、千曲川河川事務所の協力による開催はH29年度限りとなった。また、台風等による河川氾濫後の親水公園の復旧(河川事務所管轄)に消極的なため、水辺の楽校を会場とした事業を安全に実施することが年々難しくなっている。今後の事業実施については検討が必要である。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (2) 生涯学習等の推進

事 業 名 原体験の森各種事業 担当課名 生涯学習課 生涯学習係

# 事業費 決算額(円) 1, 382, 082 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 125,000 旅費 需用費 131,891 役務費 29, 391 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源內訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1, 382, 082	

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○大池の特色を活かした事業を実施し、自然に関わりながら、体験学習などを通して生きる力を育む。

# 【実績】

○大池自然の家主催事業

「春の野鳥観察会」(4/22~23)

参加者 親子3組8人

「きのこの菌打ち&くん製作り」(5/20)

参加者 親子9組30人

「一日林間学校」(7/28、31、8/1)

参加者 児童 143 人

「夏の星空観察会」(8/26~27)

参加者 親子8組17人

「昆虫観察会」(9/23~24)

参加者 親子5組12人

「千曲高原大池の秋を歩こう」(9/24)

参加者 親子2組5人 一般5人

「秋の星空観察会」(9/30~10/1)

参加者 親子7組18人

#### 【成果等】

○さまざまな自然体験を通し、身近な自然を知ることにより、子どもたちの健全育成を図ることができた。 たくさんの種類の野鳥を見られた、満天の星空が見られて 感動した、親子で楽しめたなど、各事業とも好評であった。

#### 【今後の方向性】

○引き続き親子をはじめ多くの市民が参加できる事業を企 画し実施していく。

# 主要施策 2 │ ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (2) 生涯学習等の推進

事業名 ブックスタート事業 担当課名 生涯
-----------------------

# 事業費 決 算 額(円) 2, 992, 726 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 739, 500 職員手当等 賃金 報償費 9, 100 旅費 需用費 244, 126 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 992, 726

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○親子が絵本を通じ本に親しむ端緒をつくる。 生後7か月の乳児のいる世帯へ「絵本プレゼント会」の

通知発送。

会を通じて絵本1冊を贈呈・読書アドバイザーによる 読み聞かせ指導実施。

#### 【実績】

○プレゼント会 13回開催

対象者:510名 贈呈292名(57%) 更埴:358名 贈呈184名(51%) 戸上:152名 贈呈108名(71%)

## 【成果等】

○対象者世帯の半数以上(57%)において、親子が絵本を 通じてふれ合い、本に親しむ機会づくりができた。

#### 【今後の方向性】

○「園児訪問」、「セカンドブック事業」と子どもの成長に 合わせた事業展開により、読書の機会を与え・楽しさを 伝えていく。

対象者世帯への直接通知を継続し、HP・図書館だより 掲載などにより周知拡大・贈呈者増を図る。

# 主要施策 2 │ ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (2) 生涯学習等の推進

事業名 セカンドブック事業 生涯学習課 図書館 担当課名

# 事業費 決 算 額(円) 1, 843, 849 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 748, 049 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 843, 849

# 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○小学1年生に読書の楽しさを本の贈呈を通じ伝え、 読書・学校図書館などの利用増につなげる。 自力である程度の本を読めるようになり、学校図書館の 利用を始める小学1年生が対象。 選定図書20冊から選んでもらい、本を1冊贈呈する。

#### 【実績】

○対象者: 442 名(市内校 438 名、市外校 4 名) に贈呈。 10月26日(木)更級小学校において配布式開催。

# 【成果等】

○「ブックスタート事業」、「園児訪問」を経て小学校 1年生で本を贈呈することにより、幼少期における 読書機会を一貫して提供し、読書並びに図書利用を 促進することができた。

#### 【今後の方向性】

○本事業は「ブックスタート事業」「園児訪問」と並び 幼少期における読書機会提供の重要な柱として継続。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (3)スポーツの振興

事業名 第3回千曲川ハーフマラソン事業 担当課名 スポーツ振興課

# 事業費 決 算 額(円) 14, 576, 047 節別内訳(円) 報酬 給料、 7,670,600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 6, 905, 447 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	3, 948, 000
一般財源	10, 628, 047

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○市民の健康増進、観光振興およびスポーツ振興に資することを大きな目的として、千曲川ハーフマラソン実行委員会 (事務局:スポーツ振興課)が主体となって開催する。

#### 【実績】

○第3回大会のランナーエントリー者数は1,537名、出走者数が1,348名、完走者数が1,293名であった。エントリー者のうち、県内在住者が1,208名、うち市内在住者が189名であった。県外在住者は329名で都道府県別では、東京、埼玉、愛知の順でエントリー者数が多かった。

#### 【過去のエントリー数の推移】

年度	エントリー者数
平成27年度(第1回)	2049 名
平成28年度(第2回)	2491 名
平成29年度(第3回)	1537名

#### 【成果等】

○第 2 回の大会と比べてエントリー者数が大きく減っている (△954名)。要因としては、開催時期が 5 月となり気候が暑い時期となったこと、県内の他の大会と日程がかぶったことなどが考えられる。

#### 【今後の方向性】

○警察との協議において 3 月の開催は難しいとの見解を得ているため、今後も5月開催で進めることとしたい。その上で他の大会との差別化を図り参加者数を増やすため、千曲川ハーフマラソンに参加した者の収集分析を進め、千曲川ハーフマラソンの特色を打ち出して、ランナーへアピールしていく。また、これまでは準備作業のほぼすべてをスポーツ振興課職員で担当していたが、今後は実行委員会を組織する団体(千曲市スポーツ協会(旧千曲市体育協会)等)にも積極的に関わってもらうよう働きかける。

# 主要施策 2 │ ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

# (3)スポーツの振興

事業名	スポーツ振興事業	担当課名	観光交流課
-----	----------	------	-------

# 事業費 決 算 額(円) 4,002,900 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 3, 455, 000 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

内 訳(円)
4, 002, 900

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○信州ブレイブウォリアーズが市内外で活動することで生 み出される様々な効果に着目し、行政として多様な支援を 行うことで、千曲市の知名度向上ならびに地域振興と交流 人口増加につなげる。

#### 【実績】

- ○広告宣伝委託事業 (ユニフォーム・試合プログラムへの市 名称の掲載) 3,400,000円
- ○スポカラ 2017 年 10 月号 広告掲載 55,000 円
- ○千曲市観光大使に任命(平成23年度~)
- ○(株)信州スポーツスピリットへの出資 3,000,000円 (平成25年度)

#### 【成果等】

- ○選手が地元の祭りやイベントに参加し、地元住民と商店街 に街頭フラッグを掲示するなど賑わいのあるまちづくり を支援している。
- ○千曲市観光大使として、様々なイベントに参加しPR活動 を行った。

#### 【今後の方向性】

○Bリーグを通じて全国的な関心が高まることが期待され、 市内外に対し本市の魅力などの情報発信に努め、さらなる 誘客や経済効果につなげる。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫

## (4) 男女共同参画

事業名 男女共同参画事業 担当課名 人権・男女共同参画課

# 事業費

# 主要な施策の成果等

決 算	額(円)
	5, 523, 643
節 別	内 訳(円)
報酬	37, 800
給料、 職員手当等	4, 931, 100
賃金	
報償費	303, 220
旅費	48, 958
需用費	32, 279
役務費	5, 000
委託料	
使用料及び 賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	65, 286
負担金、補助 及び交付金	100, 000
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 523, 643

# 【事業目的】

○「第3次千曲市男女共同参画計画」のもと、活力ある男女 共同参画社会の実現のための事業を行う。目標のひとつと して公職や意思決定過程への女性の参画を促進し、市の施 策に男女共同参画の視点を組み込むとともに、男女がお互 いにその人権を尊重しながら、性別にかかわりなく、自ら の意思であらゆる分野に参画し、その個性と能力が発揮で きる活力ある社会の実現をめざす。

#### 【実績】

- ○男女共同参画計画審議会の開催
- ○男女共同参画社会づくり講座(市補助事業2件) 「平和のつどい映画会・平和のつどい」参加者延べ480人 「イクボス・イクメンセミナー」参加者 60人
- ○啓発事業
- ・千曲市男女共同セミナー(全6回) 延べ300人参加
- ○男女共同参画団体の活動支援(県等主催事業への参加) 埼玉県国立女性教育会館研修会 9人参加 その他、男女共同参画推進県民大会等への参加協力
- ○女性の公職参画状況調査の実施H29.4.1 現在 参画率 27.2%
- ○イクボス・温かボス宣言の取り組み(市長ほか市管理職員)

#### 【成果等】

- ○継続したセミナー開催については、参加された市民のアンケートなどからも良い評価をいただき、好評であった。 また、セミナー修了者が集まった団体もできた。
- ○男女共同参画団体との共催等により、各種事業等に対する 市民への協力体制が更に整いつつある。

- ○「千曲市総合戦略」の施策となっている「仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)の実現」に向け、市民や企業 (職場)に対する働き方改革などの情報発信や講座開催の取り組みを実施する。
- ○「女性活躍推進法」に基づく基本方針に則った施策を推進 する。
- ○「第4次千曲市男女共同参画計画」策定のための市民・企業意識調査を実施する。(平成30年度)
- ○「第4次千曲市男女共同参画計画」を策定する。

# ≪安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち≫ (5)人権・平和

事業名

人権 • 平和事業

担当課名

人権 • 男女共同参画課

#### 事業費

## 決算額(円) 22, 330, 883 節別内訳(円) 報酬 4, 328, 580 給料、 8, 766, 400 職員手当等 賃金 1, 431, 730 報償費 1,876,653 47, 780 旅費 2, 981, 413 需用費 306, 469 役務費 委託料 198,000 使用料及び 112, 488 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 151, 200 負担金、補助 2, 130, 170 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	3, 043, 800
地方債	
その他	87, 800
一般財源	19, 199, 283

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○21 世紀を、真の「人権の世紀」にするため、そして千曲 市のめざすべき、だれもが「あらゆる差別のない明るく住 みよい千曲市」構築に向け、「第2次人権とくらしに関す る総合計画」に基づく人権行政を推進していく。 また、平和・安全都市宣言の採択市として、平和の推進を

また、平和・安全都市宣言の採択市として、平和の推進をアピールしていく。

#### 【実績】

- ○「第2次人権とくらしに関する総合計画」に基づく施策の 実施
- ・差別撤廃人権擁護審議会の開催
- ・第3次計画策定のための人権に関わる市民意識調査の実施 市民1,000人対象 回収率41.7%
- ・人権を守る市民集会(更埴文化会館) 参加者 550 人
- ・地区人権教育研修会 市内全区・自治会 72 地区 81 回 参加者 2,772 人
- ・学校人権教育 「あけぼの」の配布、作文・ポスター・標 語の募集及び作品集の作成・人権教育実践集の作成等 教職員対象人権教育研修会 参加者 70 人
- ・人権ふれあいセミナー 4回開催 参加者延べ156人
- ・人権ふれあいフェスティバル 参加者 190人
- ・日本語教室開講、各種サークル交流事業の実施
- 人権ふれあいセンター相談事業
- ○人権擁護委員千曲市部会や部落解放同盟千曲協議会とも 連携し、市民協働のもと人権啓発事業等を実施した。
- ○平和啓発の推進

「平和のつどい映画会」・「平和のつどい」の実施 (千曲市男女共同参画推進連絡協議会との共催) 参加者 延べ480人

#### 【成果等】

○地区人権教育研修会については、全区・自治会で開催され、 各地区の創意工夫により、様々な事業を実施して、地域で の人権教育を一層深めることができた。

また、人権を守る市民集会や平和のつどい開催について は、回を重ねるにつれ、市民の人権配慮の必要性や平和の 重要性を理解してもらう機会となっている。

- ○「千曲市総合計画」や「第2次人権と暮らしに関する総合 計画」に基づき人権施策を推進していく。計画の着実な推 進を図るため、「千曲市差別撤廃人権擁護審議会」におい て、毎年事業の推進状況(年次報告)を検証するものとす る。
- ○「第3次人権とくらしに関する総合計画」を策定する。
- ○「平和推進活動」については、市民と協働のもと継続的に 進めていく。

# ≪支え合い、だれもが健康で活躍するまち≫

(1) 障がい者福祉

事業名

地域生活支援事業(基幹相談支援センターの設置)

担当課名

福祉課

主要な施策の成果等

# 事業費

\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
<b>决</b> 算	<b>額 (円)</b>
	16, 960, 518
節 別	内 訳 (円)
報酬	
給料、 職員手当等	4, 931, 100
賃金	
報償費	
旅費	
需用費	
役務費	
委託料	12, 029, 418
使用料及び	
賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産	
購入費	
備品購入費	
負担金、補助	
及び交付金	
扶助費 	
補償、補填	
及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	29, 600
県支出金	14, 800
地方債	
その他	
一般財源	16, 916, 118

○障害者総合支援法に基づき基幹相談支援センターを設置 し、身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者が自立で きるよう支援するほか、特に専門的な相談支援を行なうと ともに、相談支援事業所等と連携しながら総合的な相談業

務を行なうことにより、地域の中核的な役割を担う。

# 【実績】

【事業目的】

○相談支援体制の充実等を図るために、障害者総合支援法に 基づく基幹相談支援センターを平成29年10月に設置した。

#### 【成果等】

○基幹相談支援センターを平成29年10月に設置して以降、 障がいのある方への相談業務のほか、地域の相談事業所へ の援助、病院からの地域移行や、地域の体制整備について の検討なども実施し、地域全体の福祉の増進に寄与できる よう努めている。

# 【今後の方向性】

○地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターとして、 引き続き今後のセンターとしてのあり方を検討していく と共に、センター機能の充実・強化を図るため、人員配置 等体制整備について検討していく。

# ≪支え合い、だれもが健康で活躍するまち≫

(1) 障がい者福祉

事業名

障害者援護一般事業 (障害者福祉計画・障害福祉計画等の策定)

担当課名

福祉課

# 事業費 **決 算 額 (円)** 8,848,600 節別内訳(円) 報酬 給料、 5, 479, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 3, 369, 600 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	8, 848, 600

#### 主要な施策の成果等

#### 【事業目的】

○障害者計画により、今後の障がい福祉施策全般にわたって 市の目指すべき方向性を位置付けるとともに、具体的なサービス支給等の数値目標については障害福祉計画・障害児 福祉計画によって示すことで、市の目指すべき福祉施策の 体制整備等の充実を図る。

#### 【実績】

○障害者基本法に基づく第2期障害者計画と、障害者総合支援法に基づく第5期障害福祉計画、児童福祉法に基づく第 1期障害児福祉計画を策定した。

#### 【成果等】

○障害者計画により、今後の障がい福祉施策全般にわたって 市の目指すべき方向性が位置付けられたことや、障害福祉 計画・障害児福祉計画によってサービス支給に係る具体的 数値目標等が示されたことで、関係機関等が共通認識を持 って、今後の地域の体制整備等の検討を実施している。

#### 【今後の方向性】

○計画に位置付けられた施策展開にあたり、事業実施の費用 や人材の確保等の課題も含め、目標達成に向けてどのよう に体制整備を図るべきか自立支援協議会を中心とした地 域の関係機関とともに検討していく。

# ≪支え合い、だれもが健康で活躍するまち≫

(2)生活支援

事業名

住宅 • 生活支援対策事業

担当課名

福祉課

# 事業費

# 決算額(円) 15, 703, 400 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 12, 725, 000 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1, 150, 000 及び交付金 扶助費 732,600 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	10, 859, 200
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 844, 200

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○生活困窮者に対する自立に向けた支援や住居確保に向けた 支援

#### 【実績】

○生活困窮者に対する相談窓口として、千曲市社会福祉協議会 へ事業委託し、福祉課内に生活就労支援センター(まいさぱ 千曲)を設置し、生活・就労相談など総合的な支援を行った。

・相談状況

相談件数(延べ数):3,769件新規相談者数: 143人月毎の相談者数の合計: 603人

○住居確保給付金(住宅支援給付金)

支給者 6 世帯 延支給月数 23 ヶ月 支給総額 732,600 円

# 【成果等】

○相談支援状況

就労内定	増収	職業訓練開始	就職 活動 開始	就労 環境 整備	就労 定着 支援	複合 課題 整理	保護 申請	他機 関へ 終了	計
28	6	0	69	1	122	299	17	61	603

・生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談窓口として、603人、3,769件の相談を受け、課題の整理・就労支援・家計相談などを実施した。また、相談者35人に対し支援計画を作成し、住居確保給付金・生活福祉資金貸付制度などを利用しながら、自立に向けた継続的な支援を行った。

#### 【今後の方向性】

○引き続き、ハローワーク等の関係機関と連携しながら、生活 困窮者に対する自立に向けた支援を実施する。

生活保護事業

担当課名

福祉課

#### 事業費

•	<b>不</b> 只
決 算	額(円)
	432, 245, 537
節 別	内 訳(円)
幸及酉州	2, 194, 800
給料、 職員手当等	20, 820, 200
賃金	
報償費	372, 000
旅費	
需用費	196, 094
役務費	223, 450
委託料	1, 513, 088
使用料及び 賃借料	280, 800
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	248, 400
負担金、補助 及び交付金	1, 150, 000
扶助費	405, 246, 705
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内訳(円)
国庫支出金	301, 323, 900
県支出金	11, 233, 700
地方債	
その他	
一般財源	119, 687, 937

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○生活保護制度の適正な運営

## 【実績】

○生活に困窮する市民に対して文化的で最低限度の生活を保障するとともに、就労可能な被保護者に対しては就労支援を行い、自立を助長した。

月平均保護世帯: 175 世帯 月平均保護人数: 214 人 保護開始世帯数: 24 世帯 保護廃止世帯数: 58 世帯

うち稼動収入増による廃止:3世帯

○生活保護費扶助別支出

〇工门				
	金額	構成比率	前 年 度	
区分	(円)	(%)	(円)	
生活扶助費	104, 578, 364	25.8	122, 107, 724	
住宅扶助費	42, 709, 825	10. 5	45, 634, 007	
教育扶助費	1, 638, 127	0.4	2, 426, 635	
医療扶助費	236, 442, 543	58. 4	245, 643, 707	
生業扶助費	768, 577	0.2	710, 125	
葬祭扶助費	1, 172, 125	0.3	184, 384	
介護扶助費	5, 737, 067	1.4	6, 828, 033	
施設事務費	11, 845, 402	2.9	12, 103, 436	
出產扶助費	0	0	0	
就労自立給付金	354, 675	0. 1	0	
合 計	405, 246, 705	100	435, 638, 051	

#### 【成果等】

- ○最後のセーフティネットとして、市民の自立更生に貢献した。
- ○就労可能な被保護者のうち、就労阻害要因のない支援対象者を選定し、早期就労に向けて支援を行った。その結果、就労支援対象とした18名のうち14名が就労し、うち3名が保護廃止に至った。

# 【今後の方向性】

○生活困窮者自立支援法の自立相談支援事業との連携により、 生活困窮者に対し総合的に取り組んでいく。また、県と共同 で就労準備支援事業へ取り組む。

成人保健事業(保健健康教育·各種検 診事業)

担当課名

健康推進課

# 事業費 決算額(円) 138, 498, 823 節別内訳(円) 報酬 2, 100, 000 給料、 36, 161, 400 職員手当等 賃金 2, 214, 145 報償費 旅費 需用費 1, 204, 561 役務費 4, 593, 724 委託料 64, 676, 753 使用料及び 1, 248, 240 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 26, 300, 000 及び交付金 扶助費 補償、補填

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	164, 000
県支出金	1, 544, 000
地方債	
その他	49, 117, 995
一般財源	87, 672, 828

#### ※その他財源

及び賠償金

公課費

- ·特定健診 · 保健指導受託事業収入
- · 各種検診事業個人負担金
- 後期高齢者健診事業助成金
- ・大腸がん容器代金・実習生受入負担金

# 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○生活習慣病の発症予防及び重症化予防を推進し、医療費の適 正化を図る。

#### 【実績】

- ○生活習慣病対策として「千曲市保健事業実施計画(データへルス計画)」等に基づき、生活習慣病の発症、重症化予防の取組として健診受診率の向上と保健指導を実施した。
- 1 特定健診 受診者 4,030 人 (39.6%) H30.5 現在
- 2 保健指導 人間ドック受診者も含め、生活習慣病の重症化リスクに応じて優先対象者を選定し、地区担当制による個別支援 を強化した。
- (1) 特定保健指導(年度末年齢75歳の方を含む)

	対象者	実施者数	実施率
積極的支援者	95	86	90.5%
動機づけ支援者	363	333	91.7%

- (2) 重症化予防対象者等の指導
- 1,175 人
- (3) 集団健康教育(生活習慣病予防等講話) 75 回 2,159 人
- (4) 地区組織学習会
- 30回 918人
- (5) 検診受診勧奨のための広報やチラシ配布。

#### 【成果等】

○特定健診・特定保健指導実施率が増加している。 (%)

	H20 年度	H29 年度	伸び率
特定健診受診率	21. 5	39. 6	18. 1
特定保健指導率	32. 7	H28 92.6	59. 9

H29.5 現在

○健診受診者の健診結果より、高血圧・脂質異常症の 有所見率の減少傾向にある。 (%)

疾患	重症化しやすい値	H28 年度	H29 年度
糖尿病	H b A1C6. 5%以上	9.2	9.0
高血圧	高血圧Ⅱ度以上	4.0	3. 7
脂質異常	LDL-C160以上	8.0	8.0

○がん検診事業では、17人の方にがんが発見された。

- ○特定健診の受診率は、徐々に増加しているものの目標の60% には満たない状況であることから、引き続き訪問や電話、通 知等にて未受診者対策を実施していく。
- ○生活習慣病の発症予防及び重症化予防に効果がある保健指導 を推進していく。

購入費 備品購入費

扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

負担金、補助

及び交付金

成人保健事業(健康サポート連携事業)

担当課名

健康推進課

# 事業費

# 決 算 額(円) 1,857,124 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,095,800 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 225, 920 役務費 委託料 327,000 使用料及び 賃借料 208, 404 工事請負費 原材料費 公有財産

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	504, 000
地方債	
その他	
一般財源	1, 353, 124

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、健康情報等を提供 することで、市民の健康増進と生活習慣病予防を図る。

## 【実績】

1会議開催

- ○医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携を図り市民の健康増進 と生活習慣病予防の強化を図った。
- 医師会2回/年、歯科医師会・薬剤師会 各1回/年 ○市民への情報提供
- 1 広報に日曜・祝日当番医・薬局を毎月掲載
- 2「千曲市子育てガイドブック」に市内医療機関・薬局の掲載
- 3 特定健診ポスターを市内医療機関・薬局に掲示
- 4 特定健診・がん検診受診促進のパンフレットを市内薬局窓口 に (28件) で配布 計600枚
- 5 薬剤師会で実施した服薬管理調査結果の市報への掲載

## 【成果等】

○医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携により、市民への健 康情報を提供することができた。

# 【今後の方向性】

○今後も連携を図りながら情報を共有し、市民の健康増進ため の事業内容を検討していく。

成人保健事業(生活習慣病対策)

担当課名

健康推進課

# 事業費 決 算 額(円) 3, 835, 300 節別内訳(円) 報酬 給料、 3, 835, 300 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3, 835, 300
川又於17/65	3, 033, 300

公課費

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○国の指針に基づき計画の中間評価及び計画を定め、生活習慣 病対策をはじめとする被保険者の健康増進により、医療費の 適正化を図る。

# 【実績】

1 健康アップ千曲 21 (第二次) 中間評価の策定。

平成17年に第一次を策定し、平成25年に国民運動が全部改正されたため、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた計画を平成25年度から平成34年度までの10年間とし、5年目にあたる平成29年度に中間見直しを実施。

2 第2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)、

第3期特定健康診査等実施計画を一体的の策定 生活習慣病の発症や重症化予防のため、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を抽出し保健指導を実施する。生活習慣病対策をはじめ、被保険者の自主的な健康増進及び疾病予防の取り組みについて保険者が支援の中心になって被保険者の特定健診の結果、レセプトデータ等の健康医療介護情報を活用し、特性を踏まえ、効果的かつ効率的な保健指導を展開することを目指す。

#### 【成果等】

○健康寿命の延伸、健康格差の縮小の実現に向けて、生活習慣病の発症予防や重症化予防を図り、生活習慣の改善や社会環境の整備等市民の健康増進につながる。

また、被保険者の健康の保持増進により医療費適正化が図れる。

# 【今後の方向性】

○計画の目標達成に向けて事業を推進医師会・歯科医師会・薬 剤師会と連携し、健康情報等を提供することで、市民の健康 増進と生活習慣病予防を図る。

# ≪支え合い、だれもが健康で活躍するまち≫ (4)国民健康保険関係

事業名

国民健康保険事業

担当課名

健康推進課

事業費		
決 算	額(円)	
	6, 650, 206, 916	
節別	内 訳(円)	
報酬	3, 914, 853	
給料、 職員手当等	26, 299, 200	
賃金	7, 328, 070	
報償費	200, 000	
旅費	45, 220	
需用費	2, 452, 958	
役務費	18, 731, 178	
委託料	12, 858, 627	
使用料及び 賃借料	318, 816	
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	6, 467, 756, 581	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
補償金、利子 及び割引料	38, 736, 097	
積立金	71, 565, 316	
公課費		

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	1, 365, 781, 391
県支出金	262, 320, 966
地方債	
その他	3, 966, 244, 252
一般財源	1, 055, 860, 307

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○加入している被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に対し必 要な保険給付を行い、社会保障及び国民保健の向上に寄与 する。

# 【実績】

- ○世帯数 (年度平均) 8,070 世帯 (前年度比 △285 世帯) 被保険者数(年度平均) 13,087 人(前年度比 △679 人)
- ○保険税収入
  - 1, 158, 903, 135 円 (現年課税分徴収率 96.9% (H28 年度 95.7%))
- ○保険給付費
  - 4, 110, 934, 126 円
- ○特定健康診査受診率(H30.5 現在)
  - ・特定健康診査 39.6% (H28 年度最終 42.5%)

## 【成果等】

○保険給付・保健事業等を適切に実施し、被保険者の健康維 持・増進に寄与した。

- ○特定健康診査をはじめとする保健事業を充実させ、医療費 の適正化を図る。
- ○保険税収納率の更なる向上に努める。
- ○国保税の「資産割」のあり方について検討を行う。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1)防災対策

事業名

地域防災計画改訂事業

担当課名

**危機管理防災課** 

#### 事業費

# 【事業目的】

【実績】

決算額(円)4,067,284節別內訳(円)報酬給料、<br/>職員手当等賃金

○市民生活に甚大な被害を及ぼす恐れのある大規模な災害 に対処するため、市、関係機関、市民がそれぞれの役割を 認識し、相互に連携し、総合的かつ計画的な防災対策を推 進することにより、かけがえのない市民の生命、身体及び 財産を災害から保護する。

主要な施策の成果等

報償費 旅費 電用弗 221.08

主な災害 関東・東北豪雨災害 熊本地震

近年の主な災害や法改正等を反映

無用費 231, 984 役務費

平成28年台風第10号

委託料

主な法改正 水防法

使用料及び 賃借料 土砂災害防止法

工事請負費

下水道法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

災害対策基本法

原材料費 公有財産

【成果等】

購入費 備品購入費 ○現在想定される災害に対して、迅速かつ確実な対応が可能となる。

領担金、補助 及び交付金

# 【今後の方向性】

扶助費

○過去の災害の教訓や法改正を生かし、"災害に強い安心・安全なまちづくり"を推進する。

補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 067, 284

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1)防災対策

事業名

業務継続計画(BCP)策定事業

担当課名

**危機管理防災課** 

# 事業費

# 決算額(円) 5, 973, 700 節別内訳(円) 報酬 給料、 3,835,300 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 2, 138, 400 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 973, 700

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○地震による影響により利用できる資源が制約を受ける状況 において、応急業務及び継続性の高い通常業務を特定するこ とにより、大規模な地震発生時にも適切な業務執行を行う。

# 【実績】

○大規模地震の発生により市役所自身も被災する可能性が あり、行政機能全般の低下が余儀なくされる状況が想定さ れる。

非常事態において優先的に実施する業務を的確に行えるよう業務継続性を確保しておくため業務継続計画 (Business Continuity Plan) 地震対策編を策定した。

#### 【成果等】

○地震による影響により利用できる資源(ヒト・モノ・情報・ライフライン等)が制約を受ける状況において非常時優先業務に必要な資源の確保や配分を定める等の必要な措置を講じることにより適正な業務執行を行うことが可能となる。

#### 【今後の方向性】

○平成31年度に新庁舎が完成することから、非常時優先業務と職員参集状況を大幅に改訂する。

また、計画内で定めた非常参集訓練などの職員訓練・研修を必要に応じて実施する。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1) 防災対策

事業名

防災訓練実施事業

担当課名

危機管理防災課

# 事業費

<b>油</b> 質	額(円)
(人) 异	
	5, 058, 012
節 別	内 訳(円)
報酬	
給料、 職員手当等	3, 835, 300
賃金	
報償費	
旅費	
需用費	213, 212
役務費	516, 408
委託料	
使用料及び	493, 092
賃借料	493, 092
工事請負費	
原材料費	
公有財産	
購入費	
備品購入費	
負担金、補助	
及び交付金	
扶助費	
補償、補填	
及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 058, 012

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○各種防災訓練を総合的に実施することで、関係機関が連携 した災害時即応体制の確立及び防災意識の普及啓発を図 る。

#### 【実績】

- ○各種防災訓練を総合的に実施することで、関係機関が連携 した災害時即応体制の確立及び防災意識の普及啓発を図 る。
- ○重点地区:(雨宮、土口、生萱、倉科、森東、森西)
- · 実施日: 平成29年9月3日(日)8:00~11:30
- ・会場 : 東小学校 ・参加人員:約1,425名
- ○各地区
- ・実施日時:各地区指定日時 ・会場:各地区指定場所 ・参加人員:約8,304人

## 【成果等】

○災害時の避難行動・即応体制及び防災意識の普及が図られ た。

#### 【今後の方向性】

○例年重点地区では各地区の実情に応じた訓練を実施しているが、新たな訓練の発案及びより一層の防災啓発に努める。また、各地区においては、地区の状況に応じた訓練の実施を啓発する。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1) 防災対策

事業名

災害時避難行動要支援者名簿事業

担当課名

**危機管理防災課** 

# 事業費

# 決算額(円) 2, 739, 500 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 739, 500 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2, 739, 500

公課費

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○高齢者や障がい者等の防災施策において特に配慮を要する方のうち、災害発生時の避難行動を自力で行うことが困難で、特に支援を要する方について、災害発生時等の安否確認や避難の支援を円滑に行うために、災害時避難行動要支援者名簿、個別支援計画を事前に作成する。

#### 【実績】

○各区・自治会に依頼し、7月から10月にかけて個別支援 計画の作成を実施した。

平成 29 年 12 月末現在、個別支援計画作成対象者 1,603 人に対し、1,435 人の個別支援計画が作成された。

※対象者の出入りが多いため、作成率100%にはならない。

#### 【成果等】

○災害時避難行動要支援者に対する災害時の支援について、 必要な支援や地域支援者、避難場所等が明確になった。ま た、防災訓練等に名簿が活用された。

#### 【今後の方向性】

○事業自体が定着しつつある段階である。

災害時に要支援者への支援が確実に図られるよう、地域コミュニティの形成について啓発する。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1) 防災対策

事業名

消防団員確保対策事業

担当課名

**危機管理防災課** 

# 事業費

# 決 算 額(円) 4, 205, 220 節別内訳(円) 報酬 3,657,320 給料、 547,900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4, 205, 220

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○消防団への入団を躊躇する要因として、訓練や活動回数の 多さが消防庁のアンケート調査で指摘されていることから、消防団員の活動環境の改善及び消防団員の入団促進を 図るために、消防団活動の見直しを行い消防団員の負担軽 減を図るとともに、家族等への消防団活動に対する理解を 深めるため、出動手当を出動団員に直接支給する。

#### 【実績】

- ① 出動手当の個人口座への支給 消防団員の出動に対して支給する出動手当を、これまで の分団への一括支払いから個人口座への支払いに変更 した。
- ② ポンプ操法訓練における団員の負担の軽減 消防団活動において最も負担の大きいポンプ操法訓練 について、分団内で訓練のあり方や大会の出場選手の選 考について協議してもらい、チームの再編等を行い、団 員の負担軽減を図った。

#### 【成果等】

- ① 出動する消防団員の意識向上及び消防団に対する家族への理解を深めることにつながった。
- ② 分団や地域の慣例により毎年出場を余儀なくされていた少人数の班や出場回数が多い団員の負担が軽減された。

- ○出動手当については最初の個人口座の登録に多少時間を 要するが、登録後の事務量はこれまでとほぼ変わらず、ま た出動した対価が直接個人へ反映されることから、引き続 き出動手当の個人への振込を行う。
- ○ポンプ操法訓練における団員の負担軽減については、出場 チームの編成にあたり、混合チームを編成したり、班で順 番に回したりなど分団により違いがあることから、団員の 消防技術の低下につながらないよう、可搬ポンプの操作に ついて分団毎で練習や指導を行っていく必要がある。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1) 防災対策

事業名

デジタル防災行政無線実施設計事業

担当課名

**危機管理防災課** 

#### 事業費

# 決算額(円) 10, 451, 000 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 191, 600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 8, 259, 400 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	8, 200, 000
その他	
一般財源	2, 251, 000

#### 主要な施策の成果等

## 事業目的

○本市に適した防災情報伝達システム構築のため、平成 28 年度に策定した基本設計に基づき、実施設計業務を建設 コンサルタントに委託する。

#### 【実績】

○災害時における信頼性を最優先に合理性、経済性及び維持 管理の容易性を検討の上、整備計画、実施設計図書を作成 1.た

契約期間:平成29年7月4日から

平成30年3月23日まで

契約先: ㈱建設技術研究所長野事務所

契約額: 8,259,400円

#### 【成果等】

○現行システムは、停電や電柱が倒れるなど断線した場合、 防災情報が長時間伝達できなくなるリスクがある。今後整 備する無線システムにより、情報伝達機能の強化が図られ る。

#### 【今後の方向性】

○無線システムの整備は、多額の費用を要することから、現行システムとの並行運用、既設柱の再利用、高性能スピーカーの導入、置局の検討及び戸別受信機の整備について合理的かつ経済的なシステムを構築が必要となる。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(1) 防災対策

事業名

東林坊川改修事業

担当課名

建設課

## 事業費

<b>油.</b> 笆	〔 額 (円)
(人) 另	
	5, 850, 700
節別	内 訳 (円)
報酬	
給料、 職員手当等	547, 900
賃金	
報償費	
旅費	
需用費	
役務費	
委託料	464, 400
使用料及び 賃借料	
工事請負費	4, 838, 400
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助	
及び交付金	
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5, 850, 700

#### 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○東林坊川の上流端は普通河川五十里川から分水する分流堰で、上流域は五十里川と流域を共有している。五十里川上流の洪水を千曲川に放流することで、五十里川下流の千曲市中心市街地の浸水を防止する放水路の機能を持っている。五十里川とその下流にある一級河川沢山川への流出量の負担軽減を行う必要があるため、東林坊川の流下能力の向上を図り、下流域の浸水防止対策を実施する。

#### 【実績】

- ○用地測量 A=0.14 万㎡
- ○底張り工事 L=142.9m

## 【成果等】

○第2期整備計画区間の底張り工範囲のL=633m区間の内、L=142.9mを河川断面内の土砂の浚渫及びコンクリートによる底張り工事を実施し河川の流下断面を確保した。

# 【今後の方向性】

○過去第1期工事において、最下流のL=700m区間は改修が終わっており、第2期整備計画として底張り工範囲のL=633m区間の残りL=260mの工事を実施し、更に第2期整備計画範囲の上流L=760m区間の河川断面狭あい箇所3箇所の実施設計及び工事の実施を行い、東林坊川の全体を早急に完成させる。

事業名

住宅·建築物耐震改修促進事業

担当課名

建設課

# 事業費

# 決算額(円) 4,060,600 節別内訳(円) 報酬 給料、 2, 191, 600 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 1,088,000 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 781,000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	723, 000
県支出金	573, 000
地方債	
その他	
一般財源	2, 764, 600

## 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○地震に対する建築物の安全性に関する意識の啓発及び必要な耐震改修行うことにより、倒壊被害の防止を防ぎ、市民の生命及び身体及び財産を守る。

## 【実績】

○木造住宅耐震診断士派遣委託

	件数	補助金額	
H27	28	1, 092, 000	田
H28	22	1, 408, 000	円
H29	17	1, 088, 000	円

- ※診断1件当りの補助金額64,000円 H27のみ1件当り39,000円 (所有者の負担はなし)
- ○木造住宅耐震改修補助金
  - ・申請件数 1件

	件数	補助金額	
H27	5	4, 467, 000	円
H28	2	1, 200, 000	円
H29	1	781, 000	円

※改修1件当りの補助金限度額

H27:909,000 円 H28:600,000 円 H29:1,000,000 円 (補助率:耐震に係る工事費の 1/2)

### 【成果等】

- ○耐震診断を行うことにより、建物の安全性に関する意識の 啓発が行えた。
- ○補助金の利用により、耐震改修工事の費用負担が軽減でき、安全な建物とすることができた。

#### 【今後の方向性】

○耐震改修工事には高額な費用がかかるため、診断を行って 危険と判定されても、改修工事に踏み切れない方が多い。 耐震化率を高めるために、平成30年度から平成32年度ま で所有者にダイレクトメールを送り、申請件数を増やして いくようにする

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫ (2)上下水道の整備

事業名

生活基盤施設耐震化等交付金事業八幡地区配水管布設替舗装復旧工事

担当課名

上下水道課

# 事業費 決 算 額(円) 16, 449, 800 節別内訳(円) 報酬 給料、 1,643,000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 14, 806, 800 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財源	内 訳(円)
国庫支出金	4, 316, 000
県支出金	
地方債	9, 300, 000
その他 **	1, 166, 400
一般財源	1, 667, 400

※その他:建設課からの負担金

# 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○生活基盤施設耐震化等交付金を活用し、地域防災計画に基づいて災害時に重要な避難拠点となる施設や、要配慮者の避難拠点となる施設へ、水を供給している配水管の付設替えを行い、耐震化を進めている。

平成28年度に布設替え工事を実施し、仮舗装となっている道路の本復旧工事を実施する。

#### 【実績】

○アスファルト舗装工 A=1,859 m<sup>3</sup>

# 【成果等】

- ○老朽管を耐震管に付設替したことにより、災害時に重要な避難拠点となる施設等へ安定的に水を供給することができるようになった。
- ○本復旧されたことで、掘削前の道路状況に戻った。

## 【今後の方向性】

○老朽管の更新のみならず、浄水場や配水池の耐震診断を実施 し、措置を図る。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫ (2)上下水道の整備

事業名「

国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 「安心の蛇口」整備事業

担当課名

上下水道課

#### 主要な施策の成果等 事業費 決算額(円) 【事業目的】 547, 900 ○地震等の災害が発生した際においても給水可能な防災施設を 節別内訳(円) 整備する。 報酬 【実績】 給料、 547, 900 ○千曲市勤労者体育センターに整備。 職員手当等 ・安心の蛇口 1基 賃金 ・組立式応急給水栓及び接続設備 1基 報償費 説明板 1基 ○平成27年度に整備された白鳥園に続き、市内2基目となる。 旅費 需用費 【成果等】 役務費 ○災害時の避難施設において、周辺地域が断水しても「水が出 委託料 る」といった安心感を与えるとともに、被災時においては周 辺住民が自ら設備を組み立てて給水が可能となった。 使用料及び 賃借料 【今後の方向性】 工事請負費 () ○平成37年度までに市内4か所に設置予定 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費 財源内訳(円)

547, 900

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫ (2)上下水道の整備

事業名

公共下水道整備事業

担当課名

上下水道課

## 事業費

# 決算額(円) 263, 424, 073 節別内訳(円) 報酬 給料、 10, 958, 000 職員手当等 賃金 報償費 52, 580 旅費 需用費 1, 103, 563 役務費 353, 756 委託料 31, 448, 530 使用料及び 559, 404 賃借料 工事請負費 202, 304, 350 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 14, 445, 372 及び交付金 扶助費 補償、補填 2, 138, 488 及び賠償金 公課費 60,030

財 源	内 訳 (円)
国庫支出金	41, 000, 000
県支出金	
地方債	186, 031, 501
その他※	36, 392, 572
一般財源	

※下水道使用料、受益者負担金

## 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○生活排水による河川の水質汚染を防止し、きれいな水の環 境を保つための公共下水道の整備

## 【実績】

○管路工事 N=17箇所 (L=992.8m)

○舗装工事 N= 3箇所 (A=3090.0 m²)

○実施設計、測量等委託 N=19箇所

#### 【成果等】

○本事業により、累計整備面積2,050haとなり、農集 を除く全体計画(2,201ha)の93.1%が整備済み となった。

## 【今後の方向性】

○残りの151ha については、他部署との横断的な連携を 図り、未普及解消に努める。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫ (2)上下水道の整備

事業名

下水道整備済地区の接続促進

担当課名

上下水道課

# 事業費 決算額(円) 547, 900 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内訳(	(円)
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他※		547, 900
一般財源		

※下水道使用料

## 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○下水道の普及促進を図る。

## 【実績】

- ○未接続者への意向調査の実施
- ○融資あっせん、利子補給制度の適用要件の緩和 (供用開始から3年以内の者 ←要件撤廃)
- ○下水道ふれあいデーへの参加や市報等による啓発
- ○森農業集落排水処理場見学会の開催(東小学校・自然探検クラブ)

## 【成果等】

○水洗化率 91.0% (前年比 1.6 ポイント) の増加が図られた。

## 【今後の方向性】

○地道ではあるが、上記のような活動を続け、下水道事業への 理解を深めてもらい、より一層の普及促進を図っていく。

# 主要施策 4 ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫ (2)上下水道の整備

事業名

一般財源

※下水道使用料

農業集落排水施設の公共下水道施設へ の接続準備

担当課名

上下水道課

# 事業費 主要な施策の成果等 決 算 額(円) 【事業目的】 547, 900 ○効率的な下水道事業の運営を図る。 節別内訳(円) 【実績】 報酬 ○農業集落排水施設後利用計画の検討 給料、 547, 900 職員手当等 【成果等】 賃金 ○後利用計画については、貯留槽や防災備蓄倉庫を検討してい 報償費 る。 旅費 【今後の方向性】 需用費 ○公共下水道施設へ接続するうえで、地元説明や同意、下水道 役務費 事業サイド、農集排サイド、財政サイドなどの各種手続きや 委託料 調整が必要になる。 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費 財源内訳(円) 国庫支出金 県支出金 地方債 その他※ 547, 900

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

# (3) 長野広域連合が計画しているごみ焼却施設

事業名 広域焼却施設対策事業 担当課名 廃棄物対策課

# 決 算 額(円) 64, 851, 365 節別内訳(円) 報酬 給料、 10, 958, 000 職員手当等 賃金 報償費 旅費 75, 520 需用費 180, 405 役務費 委託料 3,637,440 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助

事業費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	5, 633, 095
一般財源	59, 218, 270

及び交付金

補償、補填

及び賠償金

扶助費

公課費

50,000,000

# 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○千曲市及び坂城町等から排出される一般廃棄物を安定的に処理するため、老朽化した葛尾組合ごみ焼却施設に替わり、長野広域連合が新たにごみ焼却施設(B焼却施設)を屋代中島地籍に整備する。

## 【実績】

- ○5 月に地権者及び建設地周辺関係者に対する全体説明会を開催し、事業概要や今後の進め方について理解を得た。
- ○10月に用地測量と物件補償調査が終了したことから、用地取得に向けた買収単価と補償等、地権者対象の全体説明会及び個別説明会を開催した。
- ○地権者の代表となる対策委員会との交渉を 5 回実施し、用地 取得に関して事業への理解と協力を求めた。

## 【成果等】

○ごみ焼却施設建設地の地権者のみならず、周辺関係者に事業 概要や今後の進め方を説明したことで、事業への理解が深ま り、施設建設に向け大きな前進となった。

## 【今後の方向性】

○平成33年4月ごみ焼却施設の稼働を目指し、長野広域連合と 連携を図り、地権者に対し用地取得に関して早期に合意が得 られるよう努める。

また、地元要望である余熱利用施設を含めた周辺整備・地元 振興策、アクセス道路等のインフラ整備について、事業実施 に向け関係機関と調整しながら進める必要がある。

# ≪災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち≫

(4)消費者保護対策

事業名

消費者保護対策事業

担当課名

生活安全課

## 事業費

ず 术 貝		
決 算	〔 額 (円)	
	772, 900	
節 別 ।	内 訳(円)	
報酬		
給料、 職員手当等	547, 900	
賃金		
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び		
賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助	225, 000	
及び交付金	220, 000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	125, 000
地方債	
その他	
一般財源	100, 000

## 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○電話を介して高齢者等を狙った特殊詐欺が相変わらず多い状況にあるため、従来の電話機から録音機能などの、迷惑電話防止機能を備えた電話機に更新する際に補助金を交付することで、電話機の更新を促進し、特殊詐欺被害の未然防止を図る。

### 【実績】

- ○千曲市特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金交付 要綱を制定し、9月1日より受付を開始した。
- ・申請件数 47件(うち2件取り下げ)
- 交付件数 45件
- · 交付額 225,000円

## 【成果等】

○迷惑電話防止機能を搭載した電話機への買い替えを促進 し、特殊詐欺等被害の未然防止が図られた。

## 【今後の方向性】

○特殊詐欺撲滅に向け啓発に取組むが、予兆電話が頻発し、被害件数は、なかなか減少しない状況となっている。 特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金制度について、更に周知しながら継続するとともに、多岐に亘る消費 生活相談に対応できるよう職員・相談員のスキルアップを 図る。

# ≪輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち≫

事業名

稲荷山重要伝統的建造物群保存地区保 存事業

担当課名

歴史文化財センター

## 事業費

# 【事業目的】

決 算	額(円)
	27, 070, 530
節別	内 訳(円)
報酬	69, 300
給料、 職員手当等	6, 026, 900
賃金	
報償費	20, 000
旅費	439, 320
需用費	3, 710
役務費	22, 700
委託料	4, 000, 000
使用料及び 賃借料	597, 000
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	15, 891, 600
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

○重伝建地区に選定された稲荷山の伝統的建造物の修理事業に補助を実施し、環境整備を図る。

主要な施策の成果等

平成28年度からの2か年事業として、重伝建地区の防災計画策定調査を実施し、地区の防災上の課題等を整理する。

## 【実績】

○国庫補助事業2件、市単独補助事業1件の併せて3件の建 造物等修理事業に補助を実施した。

修理事業を実施した建造物等

保存計画番号 M11

保存計画番号 M13-2

保存計画番号 工作物No.19

○H28、29 の 2 か年で工学院大学に委託して、伝建地区防 災計画策定調査を行なった。

8月27日 第1回ワークショップ開催

9月24日 第2回ワークショップ開催

10月27日 自衛団、消防団とのワークショップ開催

#### 【成果等】

○修理事業の実施により、伝統的建造物が本来の姿を取り戻すことができた。

防災計画策定調査の実施により、稲荷山地区が抱えている 防災に関する課題がまとまったため、課題の解決に向けて 地元住民と協議する足がかりとなった。

地区内の建物の地震に対する特性を知るため、代表的な建物の調査を実施し、防災計画策定及び修理にあたっての構造対策の参考とすることができた。

# 国庫支出金9,039,000県支出金443,000地方債

財源内訳(円)

地方債 その他 一般財源 17,588,530

## 【今後の方向性】

○今後も伝統的建造物の修理を進め、重伝建地区の保存事業 を進めていく。街なみ整備事業も活用し、建物のみならず 地区全体の整備も進めていく。

# ≪輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち≫

事業名

城山史跡公園管理事業

担当課名

歴史文化財センター

## 事業費

決 算	<b>額</b> (円)
	8, 852, 901
節 別	内 訳 (円)
報酬	
給料、 職員手当等	1, 095, 800
賃金	2, 224, 160
報償費	
旅費	
需用費	1, 536, 324
役務費	65, 445
委託料	1, 041, 972
使用料及び 賃借料	
工事請負費	2, 689, 200
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	200, 000
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	3, 736, 024
一般財源	5, 116, 877

# 主要な施策の成果等

# 【事業目的】

○城山史跡公園の老朽化した建物の補修を行ない、見学者の 安全確保を図る。

# 【実績】

○二の郭兵舎屋根の修理工事を実施し、見学者の安全確保をおこなった。

# 【成果等】

○補修工事の実施により、二の郭兵舎の安全性が高まり 安全に見学できるようになった。 老朽化した屋根の修景にもなり、城山史跡公園からの 景色を阻害する要件が減った。

# 【今後の方向性】

○城山史跡公園は開園から20年以上が経過し、建物の老 朽化が進んでいるため、継続して補修を行ない、安全に見 学できるよう整備し、見学者の増加を図る。

# ≪輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち≫

事業名

重要文化財智識寺大御堂修理事業

担当課名

歴史文化財センター

# 事業費 決算額(円) 1,666,900 節別内訳(円) 報酬 給料、 547, 900 職員手当等 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 1, 119, 000 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費

財 源	内 訳(円)
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1, 666, 900

#### 主要な施策の成果等

## 【事業目的】

○重要文化財「智識寺大御堂」屋根の修理事業に対し補助金 を交付し、貴重な文化財の保護を図る。

## 【実績】

○智識寺大御堂修理事業に国、県の随伴補助として、事業費 の補助を行なった。

H28 繰越事業として実施、H28 年度末に出来高払いとして231 千円を概算払い。H29 完了し1,119 千円を支出。

全体事業費 36,000 千円 国庫補助(85%) 30,600 千円 県補助(国補助残の50%) 2,700 千円 市補助(国・県補助残の50%) 1,350 千円 5月21日、8月27日 修理工事見学会を開催

見学者約 200 名

4月27日 第4回修理事業定例会

5月29日 第5回定例会

6月28日 第6回定例会

7月28日 第7回定例会

8月27日 第8回定例会

8月31日 文化庁担当調査官完了検査

9月20日 修理工事しゅん工

9月30日 実績報告

## 【成果等】

○工事期間中の5/21と8/27に修理工事見学会を開催したと ころ、200名近い見学者があり、地域住民の関心の高さを うかがうことができた。

修理事業の完了により、雨漏り等の心配がなくなった。

#### 【今後の方向性】

○智識寺は無住であり、地元の総代会が維持管理を行なって いるため、重要文化財の防災、防犯対策及び活用方法につ いて検討する必要がある。